MR1000

取扱説明書

メッセージ集

OMRON

はじめに

このたびは、本装置をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
インターネットや LAN をさらに活用するために、本装置をご利用ください。

2005年1月

本ドキュメントには「外国為替及び外国貿易管理法」に基づく特定技術が含まれています。
従って本ドキュメントを輸出または非居住者に提供するとき、同法に基づく許可が必要となります。
Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

本書の構成と使いかた

本書は、本装置のシステムログメッセージについて説明しています。
また、CD-ROMの中のREADMEファイルには大切な情報が記載されていますので、併せてお読みください。

本書の読者と前提知識

本書は、ネットワーク管理を行っている方を対象に記述しています。
本書を利用するにあたって、ネットワークおよびインターネットに関する基本的な知識が必要です。

本書の構成

本書では、システムログメッセージを説明しています。

マークについて

[メッセージ]	メッセージを記載しています。
[プライオリティ]	システムログのレベルを記載しています。
[意味]	各メッセージの意味を記載しています。
[パラメタの意味]	各パラメタの意味を記載しています。

本書における商標の表記について

RSA および MD5 は、RSA Security Inc. が開発した暗号およびハッシュアルゴリズムです。

本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

目 次

第 1 章　システムログ情報一覧

1.1　システムのメッセージ

1.1.1　システム起動

【メッセージ】

```
init: system startup now.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

システムが起動したことを示します。

1.2　ルーティングマネージャのメッセージ

1.2.1　ルーティングテーブルオーバーフロー

【メッセージ】

```
nsm: routing table overflow. <route> from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv4 ルーティングテーブルのエントリ数が最大値に達しているため、新たな経路情報を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<route>　破棄した経路情報

<protocol>

プロトコル種別

1.3　RIP のメッセージ

1.3.1　パケット長異常

【メッセージ】

```
ripd: recv from <src-addr> (<interface>): invalid packet length(<length>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した RIP パケットのパケット長が異常であることを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>
RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>
RIP パケットを受信したインタフェース名

<length>　RIP パケットのパケット長

1.3.2　バージョン異常

【メッセージ】

```
ripd: recv from <src-addr> (<interface>): invalid version(<version>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した RIP パケットの RIP バージョンが 0 であることを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>
RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>
RIP パケットを受信したインタフェース名

<version>
RIP パケットの RIP バージョン番号

1.3.3　送信元ポート番号異常

【メッセージ】

```
ripd: recv from <src-addr> (<interface>): invalid source port(<port>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した RIP パケット (RESPONSE) の送信元ポート番号が RIP ポート番号ではないことを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

<port>　RIP パケットの送信元ポート番号

1.3.4　送信元 IP アドレス異常

【メッセージ】

```
ripd: recv from <src-addr> (<interface>): invalid source address
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した RIP パケット (RESPONSE) の送信元アドレスが本装置のセカンダリアドレスが属しているネットワークであることを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

1.3.5　アドレスファミリ異常

【メッセージ】

```
ripd: recv from <src-addr> (<interface>): invalid address-
family(<family>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP パケット (RESPONSE) で受信した経路情報のアドレスファミリが AF_INET でないことを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

<family>

RIP パケットで受信したアドレスファミリ

1.3.6　経路情報あて先異常

【メッセージ】

```
ripd: recv from <src-addr> (<interface>): invalid ad-
dress (RTE=<address>/mask> [<metric>])
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP パケット (RESPONSE) で受信した経路情報のあて先がブロードキャストアドレス、または、ループバックアドレスであることを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

<address>

RIP パケットで受信したあて先アドレス

<mask> RIP パケットで受信したマスク長

<metric> RIP パケットで受信したメトリック

1.3.7 マスク長異常

【メッセージ】

```
ripd: recv from <src-addr> (<interface>): in-
valid mask (RTE=<address>/<mask> [<metric>])
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP パケット (RESPONSE) で受信した経路情報のあて先が、マスク長の範囲を超えていることを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

<address>

RIP パケットで受信したあて先アドレス

<mask> RIP パケットで受信したマスク長

<metric> RIP パケットで受信したメトリック

1.3.8 メトリック異常

【メッセージ】

```
ripd: recv from <src-addr> (<interface>): invalid met-
ric (RTE=<address>/<mask> [<metric>])
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP パケット (RESPONSE) で受信した経路情報のメトリックが 0 である。または、16 よりも大きいことを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>
RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>
RIP パケットを受信したインタフェース名

<address>
RIP パケットで受信したあて先アドレス

<mask>　RIP パケットで受信したマスク長

<metric>　RIP パケットで受信したメトリック

1.3.9　RIP ルーティングテーブルオーバーフロー（REQUEST パケット受信）

【メッセージ】

```
ripd: RIP routing table overflow. <address>/<mask> from <src-addr>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP ルーティングテーブルのエントリ数が最大値に達しているため、新たに受信した経路情報を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>
破棄された経路情報のあて先

<mask>　破棄された経路情報のマスク長

<src-addr>
RIP パケットの送信元 IP アドレス

1.3.10　RIP ルーティングテーブルオーバーフロー（再配布経路受信）

【メッセージ】

```
ripd: RIP routing table overflow. <address>/<mask> redis-
tribute from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP ルーティングテーブルのエントリ数が最大値に達しているため、新たな再配布経路を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

破棄された経路情報のあて先

<mask> 破棄された経路情報のマスク長

<protocol>

再配布経路のルーティングプロトコル種別

1.3.11 インタフェース経路情報オーバフロー

【メッセージ】

```
ripd: connected route overflow. <address>/<mask>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

再配布されたインタフェース経路情報が上限値に達しているため、新たなインタフェース経路情報を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

破棄された経路情報のあて先

<mask> 破棄された経路情報のマスク長

1.4　BGP4 のメッセージ

1.4.1　マーカフィールド 異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 1/1 (Message Header Er-
ror/Connection Not Synchronized.)  <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不当なマーカーフィールド を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アド レス

<direct> “ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。

“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail> 異常となった原因の詳細情報

1.4.2　メッセージ長異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 1/2 (Message Header Error/Bad Mes-
sage Length.)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

規定長範囲外のメッセージ長のメッセージを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アド レス

<direct> “ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。

“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail> 異常となった原因の詳細情報

1.4.3 メッセージタイプ異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 1/3 (Message Header Error/Bad Mes-
sage Type.)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポート外のメッセージタイプを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct> “ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。

“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail> 異常となった原因の詳細情報

1.4.4 メッセージヘッダ異常サブエラーコード認識不可

【メッセージ】

```
bgpd: <address> received NOTIFICATION 1/<subcode> (Message Header Er-
ror/Unrecognized Error Subcode) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

メッセージヘッダ異常 NOTIFICATION を受信し、サブエラーコードを認識できなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<subcode>

サブエラーコード

<detail> 異常となった原因の詳細情報

1.4.5　バージョン異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 2/1 (OPEN Message Er-
ror/Unsupported Version Number.)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポート外の BGP バージョンのメッセージを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>
相手装置の IP アドレス

<direct> “ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail> 異常となった原因の詳細情報

1.4.6　AS 番号異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 2/2 (OPEN Message Er-
ror/Bad Peer AS.) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

設定外の AS 番号または自側と同じ AS 番号を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>
相手装置の IP アドレス

<direct> “ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail> 異常となった原因の詳細情報

1.4.7 BGP-ID 異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 2/3 (OPEN Message Er-
ror/Bad BGP Identifier.) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不当な BGP-ID を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct> “ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail> 異常となった原因の詳細情報

1.4.8 サポート外オプション

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 2/4 (OPEN Message Er-
ror/Unsupported Optional Parameter.)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポート外のオプションを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct> “ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail> 異常となった原因の詳細情報

1.4.9　認証異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 2/5 (OPEN Message Er-
ror/Authentication Failure.)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

認証に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct>　“ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail>　異常となった原因の詳細情報

1.4.10　HOLD 時間受け入れ不可

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 2/6 (OPEN Message Er-
ror/Unacceptable Hold Time.)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受け入れ不可な HOLD 時間を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct>　“ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail>　異常となった原因の詳細情報

1.4.11　ケイパビリティ受け入れ不可

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 2/7 (OPEN Message Er-
ror/Unsupported Capability.)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受け入れ不可なケイパビリティを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct> “received”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。

“sending”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail> 異常となった原因の詳細情報

1.4.12　OPEN メッセージ異常サブエラーコード認識不可

【メッセージ】

```
bgpd: <address> received NOTIFICATION 2/<subcode> (OPEN Mes-
sage Header Error/Unrecognized Error Subcode) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

OPEN メッセージ異常 NOTIFICATION を受信し、サブエラーコードを認識できなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<subcode>

サブエラーコード

<detail> 異常となった原因の詳細情報

1.4.13　属性異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 3/1 (UPDATE Message Er-
ror/Malformed Attribute List)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した属性の処理中に異常が発生したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>
相手装置の IP アドレス

<direct> “ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail> 異常となった原因の詳細情報

1.4.14　サポート外既知属性

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 3/2 (UPDATE Message Er-
ror/Unrecognized Well-known Attribute.)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポート外の属性を既知属性として受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>
相手装置の IP アドレス

<direct> “ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail> 異常となった原因の詳細情報

1.4.15　既知属性の消失

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 3/3 (UPDATE Message Er-
ror/Missing Well-known Attribute.)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

UPDATE メッセージを受信しましたが、必要な属性がすべてそろいませんでした。

【パラメタの意味】

<address>
相手装置の IP アドレス

<direct> “ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail> 異常となった原因の詳細情報

1.4.16　属性フラグ異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 3/4 (UPDATE Message Er-
ror/Missing Well-known Attribute.)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

無効な属性フラグを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>
相手装置の IP アドレス

<direct> “ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail> 異常となった原因の詳細情報

1.4.17　属性長異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 3/5 (UPDATE Message Er-
ror/Attribute Length Error.)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不当な値の属性長を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct>　“ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail>　異常となった原因の詳細情報

1.4.18　ORIGIN 属性異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 3/6 (UPDATE Message Er-
ror/Invalid ORIGIN Attribute.)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不当な値の ORIGIN 属性を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct>　“ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail>　異常となった原因の詳細情報

1.4.19　メッセージループ

【メッセージ】

```
bgpd: <address> received NOTIFICATION 3/7 (UPDATE Message Error/AS Rout-
ing Loop.) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

相手側で経路情報を通知するメッセージが AS 間でループしていることを検出し、自側にその異常を通知したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>
相手装置の IP アドレス

<detail>　異常となった原因の詳細情報

1.4.20　NEXT-HOP 属性異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> received NOTIFICATION 3/8 (UPDATE Message Er-
ror/Invalid NEXT_HOP Attribute.) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不当な値の NEXT-HOP 属性を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>
相手装置の IP アドレス

<detail>　異常となった原因の詳細情報

1.4.21　オプション属性異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> received NOTIFICATION 3/9 (UPDATE Message Er-
ror/Optional Attribute Error.) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

相手側で不当なオプション属性を受信し、自側にその異常を通知したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<detail>　異常となった原因の詳細情報

1.4.22　不当経路情報

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 3/10 (UPDATE Message Er-
ror/Invalid Network Field.) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不当な値の経路情報を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct>　“ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail>　異常となった原因の詳細情報

1.4.23　不当 AS_PATH

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 3/11 (UPDATE Message Er-
ror/Malformed AS_PATH.) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不当な値の AS_PATH を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct> “ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail> 異常となった原因の詳細情報

1.4.24 UPDATE メッセージ異常サブエラーコード 認識不可

【メッセージ】

```
bgpd: <address> received NOTIFICATION 3/<subcode> (UPDATE Mes-
sage Header Error/Unrecognized Error Subcode) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

UPDATE メッセージ異常 NOTIFICATION を受信し、サブエラーコードを認識できなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<subcode>

サブエラーコード

<detail> 異常となった原因の詳細情報

1.4.25 HOLD 時間満了

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 4/0 (Hold Timer Expired) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

相手側との無通信状態がネゴシエーションした結果の HOLD 時間を経過したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>
相手装置の IP アドレス

<direct> “ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail> 異常となった原因の詳細情報

1.4.26　内部状態矛盾

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 5/0 (Finite State Machine Er-
ror) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

bgpd 内部の状態に矛盾が発生したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>
相手装置の IP アドレス

<direct> “ received ”は相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。
“ sending ”は自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail> 異常となった原因の詳細情報

1.4.27　BGP セッション終了

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 6/0 (Cease) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

BGP のセッションを終了したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct> “ received ”は相手側で BGP のセッションを終了したことを示します。

“ sending ”は自側で BGP のセッションを終了したことを示します。

<detail> 異常となった原因の詳細情報

1.4.28 エラーコード 認識不可

【メッセージ】

```
bgpd: <address> received NOTIFICATION <code>/<subcode> (Unrecognized Er-
ror Code/Unrecognized Error Subcode) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

NOTIFICATION を受信し、エラーコード を認識できなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<code> エラーコード

<subcode>

サブエラーコード

<detail> 異常となった原因の詳細情報

1.4.29 設定外装置からの接続受信

【メッセージ】

```
bgpd: <address> BGP connection IP address is not configured
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

設定されていない装置から接続要求を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

接続要求を行った装置の IP アドレス

1.4.30　相手情報範囲外指定

【メッセージ】

```
bgpd: neighbor <count> is out of range.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<count> で示す BGP 相手情報定義番号が指定可能範囲を超えているため、範囲外の BGP 相手情報定義は無効であることを示します。

【パラメタの意味】

<count>　BGP 相手情報の定義番号

1.4.31　BGP ルーティングテーブルオーバーフロー（UPDATE パケット受信）

【メッセージ】

```
bgpd: BGP routing table overflow. <route> from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

BGP ルーティングテーブルのエントリ数が最大値に達しているため、新たに受信した経路情報を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<route>　破棄した経路情報

<address>

経路情報を送信した相手装置の IP アドレス

1.4.32　BGP ルーティングテーブルオーバーフロー（再配布経路受信）

【メッセージ】

```
bgpd: BGP routing table overflow. <route> redistribute from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

BGP ルーティングテーブルのエントリ数が最大値に達しているため、新たな再配布経路を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<route>　破棄した経路情報

<protocol>

再配布経路のルーティングプロトコル種別

1.4.33　BGP セッション数オーバ

【メッセージ】

```
bgpd: <address> BGP session is failed.(too many sessions)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

BGP セッション数が最大数に達しているため、新たな BGP セッションの接続に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

1.5　OSPFv2 のメッセージ

1.5.1　エリア ID 不一致

【メッセージ】

```
ospfd: interface <interface>:<address>: ospf_read from <router_id> in-
valid Area ID <area_id>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

インタフェースに設定されているエリア ID と受信したメッセージに設定されているエリア ID が異なっていることを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<address>

インタフェースのアドレス

<router_id>

ルータ ID

<area_id>

受信した OSPF メッセージヘッダに設定されているエリア ID

1.5.2　認証方式不一致

【メッセージ】

```
ospfd: interface <interface>:<address>: ospf_read from <router_id> au-
thentication type mismatch.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

インタフェースに設定されている認証方式が相手装置と異なっていることを示します。
バーチャルリンクの認証では、インタフェース名として VLINK が表示され、アドレスは表示されません。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<address>

インタフェースのアドレス

<router_id>

ルータ ID

1.5.3 テキスト認証鍵不一致

【メッセージ】

```
ospfd: interface <interface>:<address>: ospf_read from <router_id> au-
thentication failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

インタフェースに設定されているテキスト認証鍵または MD5 認証鍵 ID が相手装置と異なっていることを示します。
バーチャルリンクの認証では、インタフェース名として VLINK が表示され、アドレスは表示されません。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<address>

インタフェースのアドレス

<router_id>

ルータ ID

1.5.4 MD5 認証鍵不一致

【メッセージ】

```
ospfd: interface <inter-
face>:<address>: ospf_read from <router_id> md5 authentication failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

インタフェースに設定されている MD5 認証鍵が相手装置と異なっていることを示します。
バーチャルリンクの認証では、インタフェース名として VLINK が表示され、アドレスは表示されません。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<address>

インタフェースのアドレス

<router_id>

ルータ ID

1.5.5　ネットワークマスク長不一致

【メッセージ】

```
ospfd: RECV[Hello]: From <router_id> NetworkMask mismatch.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<router_id> で示すルータと自装置でインタフェースに設定されたマスク長が異なっていることを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>

ルータ ID

1.5.6　Hello パケット送信間隔の不一致

【メッセージ】

```
ospfd: RECV[Hello]: From <router_id> HelloInterval mismatch.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<router_id> で示すルータと自装置で Hello パケット送信間隔の設定値が異なっていることを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>

ルータ ID

1.5.7　隣接ルータ停止確認間隔の不一致

【メッセージ】

```
ospfd: RECV[Hello]: From <router_id> RouterDeadInterval mismatch.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<router_id> で示すルータと自装置で隣接ルータ停止確認間隔の設定値が異なっていることを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>

ルータ ID

1.5.8　エリアタイプの不一致

【メッセージ】

```
ospfd: RECV[Hello]: From <router_id> option mismatch: my op-
tions: <my_option>, his options <his_option>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<router_id> で示すルータと自装置で、エリアタイプの設定値が異なっていることを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>

ルータ ID

<my_option>

自装置に設定されているエリアタイプを以下に示します。

"**2 transit**"

transit エリア

"**0 stub**"　stub エリア

"**8 nssa**"　準 stub エリア (nssa)

"**nnn unknown**"

上記以外のエリアタイプ

nnn には、エリアタイプを示す値が表示されます。

<his_option>

router_id で示されるルータに設定されているエリアタイプを以下に示します。

"**2 transit**"

transit エリア

"**0 stub**"　stub エリア

"**8 nssa**"　準 stub エリア（nssa）

"**nnn unknown**"

上記以外のエリアタイプ

nnn には、エリアタイプを示す値が表示されます。

1.5.9　LSA 最大数オーバ

【メッセージ】

```
ospfd: RECV[LS-Upd]: From <router_id> LSDB overflow.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

LSDB において、LSA 最大数を超えたことを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>

LSA 送信元ルータ ID

ルータ ID が自装置ルータ ID の場合、再配布経路を示します。

1.5.10　ルータ ID の重複

【メッセージ】

```
ospfd: RECV[Hello]: router-id <router_id> duplicated.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

自装置と同じルータ ID を使用する装置を検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>

ルータ ID

1.5.11　MTU 値の不一致

【メッセージ】

```
ospfd: RECV[DD]: From <router_id> <interface>:<address> MTU mismatch.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

隣接ルータのインタフェースに設定されている MTU 値が、自装置よりも大きいことを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>

隣接ルータ ID

<interface>

インタフェース名

<address>

インタフェースのアドレス

1.5.12　SPF 計算テーブル数オーバ

【メッセージ】

```
ospfd: Area ID <area_id>: SPF calculation table overflow.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

SPF 計算テーブル数が許容範囲を超えたことを示します。

【パラメタの意味】

<area_id>

SPF 計算テーブル数が許容範囲を超えたエリア ID

1.5.13　OSPF 作業メモリオーバ

【メッセージ】

```
ospfd: Temporary memory allocation failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

OSPF ルーティングで使用する作業メモリが許容範囲を超えたために経路情報の一部を破棄したことを示します。

1.5.14　受信可能サイズを超えたパケットの破棄

【メッセージ】

```
ospfd: RECV: packet from <address> ignored. (size too big)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<address> で示すアドレスから、受信可能サイズ以上の IP パケットを受信したため該当パケットを破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

パケットの送信元 IP アドレス

1.5.15　OSPF 活性化不可

【メッセージ】

```
ospfd: <interface> is not initialized. area <area_num> is out of range.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<area_id>で定義されたエリア番号が定義可能な範囲を超えているため、<interface> で示すインタフェースが OSPF で利用できなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<area_num>

構成定義で指定したエリア番号

1.5.16　隣接関係異常

【メッセージ】

```
ospfd: interface <interface>:<address> : neighbor <router_id> down detec-
tion. (<old_state> -> Down)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

OSPF 隣接ルータ停止確認間隔 (dead interval) の間に Hello パケットを受信できず、隣接ルータとの OSPF 隣接関係が失われたことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

自装置のインタフェース名

バーチャルリンク接続では VLINK と表示されます。

<address>

自装置のインタフェースのアドレス

<router_id>

隣接ルータ ID

<old_state>

隣接関係が失われる前の隣接ルータとの状態 Full,Loading,Exchange,ExStart,2-Way のいずれかの状態が表示されます。

1.5.17　connected 経路オーバフロー

【メッセージ】

```
ospfd: connected route overflow. <route>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

　再配布された connected 経路数が上限値に達しているため、新たな connected 経路を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<route>　破棄した connected 経路情報

1.6　ルーティングマネージャのメッセージ (IPv6)

1.6.1　ルーティングテーブルオーバーフロー

【メッセージ】

```
nsm: IPv6 routing table overflow. <prefix>/<prefixlen> from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv6 ルーティングテーブルのエントリ数が最大値に達しているため、新たな経路情報を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix>/<prefixlen>

破棄した経路情報

<protocol>

プロトコル種別

1.6.2　IPv6 プレフィックスの割り当て

【メッセージ】

```
nsm: <prefix>/<prefixlen> was assigned to <interface> from <protocol>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv6 DHCP サーバから獲得した IPv6 プレフィックスをインタフェースに割り当てたことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix>/<prefixlen>

IPv6 プレフィックスとプレフィックス長

<interface>

インタフェース名

<protocol>

プロトコル種別

1.6.3　IPv6 プレフィックスの重複

【メッセージ】

```
nsm: <prefix/prefixlen> cannot be assigned to <interface> from <proto-
col>, because  duplicated.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv6 DHCP サーバから獲得した IPv6 プレフィックスが重複しているため、インタフェースに割り当てることができなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix>/<prefixlen>

IPv6 プレフィックスとプレフィックス長

<interface>

インタフェース名

<protocol>

プロトコル種別

1.7 RIP のメッセージ (IPv6)

1.7.1 パケット長異常

【メッセージ】

```
rip6d: recv from <src-addr> (<interface>): in-
valid packet length(<length>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した RIP パケットのパケット長が異常であることを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

<length> RIP パケットのパケット長

1.7.2 バージョン異常

【メッセージ】

```
rip6d: recv from <src-addr> (<interface>): invalid version(<version>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した RIP パケットの RIP バージョンが 1 でないことを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

<version>

RIP パケットの RIP バージョン番号

1.7.3　送信元ポート 番号異常

【メッセージ】

```
rip6d: recv from <src-addr> (<interface>): invalid source port(<port>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した RIP パケット (RESPONSE) の送信元ポート番号が RIP ポート番号ではないことを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

<port>　RIP パケットの送信元ポート番号

1.7.4　送信元 IP アドレス異常

【メッセージ】

```
rip6d: recv from <src-addr> (<interface>): invalid source address
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した RIP パケット (RESPONSE) の送信元アドレスがリンクローカルアドレスではないことを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

1.7.5 ホップリミット異常

【メッセージ】

```
rip6d: recv from <src-addr> (<interface>): invalid hoplimit(<hoplimit>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した RIP パケット (RESPONSE) のホップリミットが、255 ではないことをを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>
RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>
RIP パケットを受信したインタフェース名

<hoplimit>
RIP パケットのホップリミット

1.7.6 経路情報プレフィックス異常

【メッセージ】

```
rip6d: recv from <src-addr> (<interface>): invalid pre-
fix (RTE=<prefix>/<prefixlen> [<metric>])
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP パケット (RESPONSE) で受信した経路情報のプレフィックスがマルチキャストアドレス、またはリンクローカルアドレス、または、ループバックアドレスであることを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>
RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>
RIP パケットを受信したインタフェース名

<prefix> RIP パケットで受信したプレフィクス

<prefixlen>
RIP パケットで受信したプレフィクス長

<metric> RIP パケットで受信したメトリック

1.7.7　プレフィックス長異常

【メッセージ】

```
rip6d: recv from <src-addr> (<interface>): invalid pre-
fixlen (RTE=<prefix>/<prefixlen> [<metric>])
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP パケット (RESPONSE) で受信した経路情報のプレフィックス長が 128 よりも長いことを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>
: RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>
: RIP パケットを受信したインタフェース名

<prefix>
: RIP パケットで受信したプレフィクス

<prefixlen>
: RIP パケットで受信したプレフィクス長

<metric>
: RIP パケットで受信したメトリック

1.7.8　メトリック異常

【メッセージ】

```
rip6d: recv from <src-addr> (<interface>): invalid met-
ric (RTE=<prefix>/<prefixlen> [<metric>])
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP パケット (RESPONSE) で受信した経路情報のメトリックが 0 である。または、16 よりも大きいことを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>
RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>
RIP パケットを受信したインタフェース名

<prefix> RIP パケットで受信したプレフィクス

<prefixlen>
RIP パケットで受信したプレフィクス長

<metric> RIP パケットで受信したメトリック

1.7.9 RIP ルーティングテーブルオーバーフロー（REQUEST パケット受信）

【メッセージ】

```
rip6d: RIP routing table overflow. <prefix>/<prefixlen> from <src-addr>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP ルーティングテーブルのエントリ数が最大値に達しているため、新たに受信した経路情報を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix> 破棄された経路情報のプレフィクス

<prefixlen>
破棄された経路情報のプレフィクス長

<src-addr>
RIP パケットの送信元 IP アドレス

1.7.10 RIP ルーティングテーブルオーバーフロー (再配布経路受信）

【メッセージ】

```
rip6d: RIP routing table overflow. <prefix>/<prefixlen> redis-
tribute from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP ルーティングテーブルのエントリ数が最大値に達しているため、新たな再配布経路を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix>　破棄された経路情報のプレフィクス

<prefixlen>
破棄された経路情報のプレフィクス長

<protocol>
再配布経路のルーティングプロトコル種別

1.7.11　インタフェース経路情報オーバフロー

【メッセージ】

```
rip6d: connected route overflow. <prefix>/<prefixlen>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

再配布されたインタフェース経路情報数が上限値に達しているため、新たなインタフェース経路情報を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix>　破棄された経路情報のプレフィクス

<prefixlen>
破棄された経路情報のプレフィクス長

1.8　LDP のメッセージ

1.8.1　セッションリミッタ

【メッセージ】

```
ldpd: Session limit over(<number>), Clearing up adja-
cency for <adjacency>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

セッション最大数を超えたため、超えたセッションに対応する adjacency を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<number>

セッション最大数

<adjacency>

相手 LSR の IP アドレス

1.8.2　FEC テーブルリミッタ

【メッセージ】

```
ldpd: FEC table limit over(<number>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

これ以上、FEC のテーブルを追加できないことを示します。

【パラメタの意味】

<number>

FEC テーブル最大数

1.8.3　Hello Packet のバージョンの不一致

【メッセージ】

```
ldpd: Version mismatch found in Hello packet received from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

異なるバージョンの Hello Packet を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手 LSR の IP アドレス

1.8.4　Hello Packet の LDP-ID の重複

【メッセージ】

```
ldpd: LDP ID sent by peer <address> is the same as the LDP ID
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

自装置の LDP-ID と重複する Hello Packet を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手 LSR の IP アドレス

1.8.5　Hello Packet の LDP-ID の不一致

【メッセージ】

```
ldpd: LDP ID mismatch: Cleaning up adjacency for <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

異なる LDP-ID の Hello Packet を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手 LSR の IP アドレス

1.8.6　Hello Packet の IPv4 Transport Address の不一致

【メッセージ】

```
ldpd: ipv4_trans_addr mismatch: Cleaning up adjacency for <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

異なる IPv4 Transport Adderss の Hello Packet を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手 LSR の IP アドレス

1.8.7　Initialization Message のバージョンの不一致

【メッセージ】

```
ldpd: Version mismatch with peer <address>. Cleaning up session
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

異なるバージョンの Initialization Message を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手 LSR の IP アドレス

1.8.8　LDP ID の重複

【メッセージ】

```
ldpd: LDP ID in Init message does not match local LDP ID for <router_id>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した Initialization Message の LDP-ID が自装置の LDP-ID と一致しなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>
LDP-ID

1.8.9　LDP セッションの運用可能状態への遷移

【メッセージ】

```
ldpd: LDP session shifted to OPERATIONAL for <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

LDP セッション状態が運用可能な状態まで遷移したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>
相手 LSR の IP アドレス

1.8.10　Error Notification の受信

【メッセージ】

```
ldpd: Error Notification message (code = <code>) received from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

Error Notification メッセージを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<code>　ステータスコード
詳細はステータスコード一覧に記載

<address>
相手 LSR の IP アドレス

1.8.11　Error Notification の送信

【メッセージ】

```
ldpd: Error Notification message (code = <code>) sent to <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

Error Notification メッセージを送信したことを示します。

【パラメタの意味】

<code>　ステータスコード

詳細はステータスコード一覧に記載

<address>

相手 LSR の IP アドレス

［ LDP Error Notification メッセージで利用されるステータスコード一覧］

RFC3036 での表記	Status Code	状態の意味
Bad LDP Identifier	0x00000001	LDP-IDの不良
Bad Protocol Version	0x00000002	LDP プロトコルバージョンの不良
Bad PDU Length	0x00000003	PDU長の不良
Bad Message Length	0x00000005	メッセージ長の不良
Bad TLV length	0x00000007	TLV 長の不良
Malformed TLV Value	0x00000008	TLV 値の誤形成
Hold Timer Expired	0x00000009	Hello タイマの満了
Shutdown	0x0000000a	シャットダウン（セッション強制切断）
Session Rejected/No Hello	0x00000010	セッション拒否（Hello 近隣がない）
Session Rejected/ Parameters Advertisement Mode	0x00000011	セッション拒否（dvertisementMode受け入れ不可）
Session Rejected/ Parameters Max PDU Length	0x00000012	セッション拒否（最大PDU長受け入れ不可）
Session Rejected/ Parameters Label Range	0x00000013	セッション拒否（ラベル範囲受け入れ不可）
KeepAlive Timer Expired	0x00000014	キープアライブタイマの満了
Session Rejected/Bad KeepAlive Time	0x00000018	セッション拒否（キープアライブの不良）
Internal Error	0x00000019	内部エラー

注）　本装置から送信されるError Notification メッセージには利用されないコードも含まれます。

1.8.12　IPv4 Transport Address の設定失敗

【メッセージ】

ldpd: ipv4_trans_addr not found: LDP on interface <ifname> is not available

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv4 Transport Address の設定が異常 (装置に存在しないアドレスを指定) のため、LDP のインタフェース設定に失敗した事を示します。

【パラメタの意味】

<ifname>

インタフェース名

1.9 マルチキャスト のメッセージ

【メッセージ】

```
<name>: <interface> is disable for multicast. (too many interface)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

インタフェース数の上限を超えたため、マルチキャスト インタフェースとして動作しないことを示します。

【パラメタの意味】

<name> 動作しているプロト コル

pimdmd PIM-DM

pimsmd PIM-SM

<interface>

インタフェース名

【メッセージ】

```
<name>: <interface> is disable for multicast. (different protocol)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

他のインタフェースで指定されたマルチキャスト・ルーティングプロト コルと異なるプロト コルが指定されたため、マルチキャスト インタフェースとして動作しないことを示します。

【パラメタの意味】

<name> 動作しているプロト コル

pimdmd PIM-DM

pimsmd PIM-SM

lt;interface>

インタフェース名

【メッセージ】

```
<name>: <interface> is disable for multicast. (unnumbered interface)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IP アドレスが設定されていないインタフェースのため、マルチキャストインタフェースとして動作しないことを示します。

【パラメタの意味】

<name>　動作しているプロトコル

pimdmd　PIM-DM

pimsmd　PIM-SM

<interface>

インタフェース名

【メッセージ】

```
pimsmd: Invalid Cand-RP address.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

Candidate RP に指定した IP アドレスが不正のため、RP として動作しないことを示します。

【メッセージ】

```
pimsmd: Cand-RP address is not local.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

Candidate RP に指定した IP アドレスを持つインタフェースが存在しないため、RP として動作しないことを示します。

【メッセージ】

```
pimsmd: Invalid Cand-BSR address.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

Candidate BSR に指定した IP アドレスが不正のため、BSR として動作しないことを示します。

【メッセージ】

```
pimsmd: Cand-BSR address is not local.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

Candidate BSR に指定した IP アドレスを持つインタフェースが存在しないため、BSR として動作しないことを示します。

1.10　通信関連のメッセージ

1.10.1　LAN キャリア検出

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] lan port link up
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

Etherent 回線について、リンクアップを検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<line>　　回線番号

1.10.2　LAN キャリア喪失

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] lan port link down
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

Etherent 回線について、リンクダウンを検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<line>　　回線番号

1.10.3　同期確立

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] line synchronization is established
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

回線の同期確立が完了したことを示します。このメッセージは ISDN 回線、専用線、フレームリレー、およびモデムの場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<line> 対象となる回線

ISDN 回線、専用線、フレームリレーの場合

[<line>]

<line> ：回線番号

モデムの場合

[com / <no>]

<no> ：serial 定義番号

1.10.4 同期はずれ

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] line synchronization is failed
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

回線の同期はずれが発生したことを示します。このメッセージは ISDN 回線、専用線、フレームリレー、およびモデムの場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<line> 対象となる回線

ISDN 回線、専用線、フレームリレーの場合

[<line>]

<line> ：回線番号

モデムの場合

[com / <no>]

<no> ：serial 定義番号

1.10.5 回線接続

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] connected <ch> to <target>(<dial>) by <reason>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

発信により相手システムと接続したことを示します。このメッセージは ISDN 回線、PPPoE、およびモデムの場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<line>　対象となる回線

ISDN 回線の場合

[<line>]

<line> ：回線番号

PPPoE の場合

[lan<no>]

<no> ：利用した lan 定義番号

モデムの場合

[com / <no>]

<no> ：利用した serial 定義番号

<ch>　接続物理チャネル

ISDN 回線の場合

B1 〜 B2ch

PPPoE の場合

-

モデムの場合

-

<target>　ネットワーク名. 接続先名

<dial>　接続ダイアル番号（ISDN 回線またはモデムの場合だけ表示）

<reason>

発信契機

forwarding packet

フォワード パケット

ProxyDNS

ProxyDNS

MP　MP（ISDN 回線の場合だけ）

manual　手動接続

keep connection

回線接続保持機能（常時接続）による接続（ISDN 回線またはモデムの場合だけ表示）

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] connected <ch> from <target>(<dial>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

着信により相手システムと接続したことを示します。このメッセージは ISDN 回線およびモデムの場合だけ出力されます。

【パラメタの意味】

<line> 対象となる回線

ISDN 回線の場合

[<line>]

<line> ：回線番号

モデムの場合

[com / <no>]

<no> ：serial 定義番号

<ch> 接続物理チャネル

ISDN 回線の場合

B1 〜 B2ch

モデムの場合

-

<target> ネットワーク名. 接続先名
（テンプレート着信の場合は テンプレート名. 接続ユーザ ID）

<dial> 相手電話番号

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] <ch> is decided as <target>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<ch> において着信した相手が認証により<target> と判明したことを示します。このメッセージは ISDN 回線およびモデムの場合だけ出力されます。

【パラメタの意味】

<line>　対象となる回線

ISDN 回線の場合

[<line>]

<line> ：回線番号

モデムの場合

[com / <no>]

<no> ：serial 定義番号

<ch>　接続物理チャネル

ISDN 回線の場合

B1 ～ B2ch

モデムの場合

-

<target>　ネットワーク名. 接続先名
（テンプレート着信の場合は テンプレート名. 接続ユーザ ID）

1.10.6　回線切断

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] disconnected <ch> to <tar-
get> : charge=<charge> time=<time> [<reason>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

自側より回線切断を行い、回線が切断されたことを示します。このメッセージは ISDN 回線、PPPoE、およびモデムの場合に出力されます。ISDN 回線の場合だけ「charge=<charge>」が表示されます。

【パラメタの意味】

<line>　対象となる回線

ISDN 回線の場合

[<line>]

<line> ：回線番号

PPPoE の場合

[lan<no>]

<no> ：利用した lan 定義番号

モデムの場合

[com / <no>]

<no> ：serial 定義番号

<ch> 接続物理チャネル

ISDN 回線の場合

B1 ～ B2ch

PPPoE の場合

-

モデムの場合

-

<target> ネットワーク名. 接続先名
（テンプレート着信の場合は テンプレート名. 接続ユーザ ID）

<charge>

通話料金（円単位）
※ ISDN 回線で網から通知があった場合

<time> 接続時間（dddd.hh:mm:ss の形式）

<reason>

切断理由（テンプレート着信の場合だけ表示）

リモート IP アドレス重複

same ip remote address exist(<address>)

<address> ：リモート IP アドレス

同一ユーザ接続済

same user already connected(<user>)

<user> ：ユーザ ID

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] disconnected <ch> from <tar-
get> : charge=<charge> time=<time>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

相手側または網から回線切断が通知され、回線が切断されたことを示します。このメッセージは ISDN 回線、PPPoE、およびモデムの場合に出力されます。ISDN 回線の場合だけ「charge=<charge>」が表示されます。

【パラメタの意味】

<line> 対象となる回線

ISDN 回線の場合

[<line>]

<line> ：回線番号

PPPoE の場合

[lan<no>]

<no> ：利用した lan 定義番号

モデムの場合

[com / <no>]

<no> ：serial 定義番号

<ch>　接続物理チャネル

ISDN 回線の場合

B1 〜 B2ch

PPPoE の場合

-

モデムの場合

-

<target>　ネットワーク名. 接続先名
（テンプレート着信の場合は テンプレート名. 接続ユーザ ID）

<charge>

通話料金（円単位）
※ ISDN 回線で網から通知があった場合

<time>　接続時間（dddd.hh:mm:ss の形式）

1.10.7　着信拒否

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] rejected call from (<dial>) because <reason>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

着信通知を拒絶したことを示します。このメッセージは ISDN 回線およびモデムの場合だけ出力されます。

【パラメタの意味】

<line>　対象となる回線

ISDN 回線の場合

[<line>]

<line> ：回線番号

モデムの場合

[com / <no>]

<no> ：serial 定義番号

<dial> 相手電話番号（モデムの場合: -）

<reason>

拒否理由

permission denied

着信が許可されていなかったための拒否

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] <ch> is not decided as any defined host, but anony-
mous login is not usable
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

認証により着信相手判断を行おうとしたが、合致する接続先情報がなく、また不特定相手着信ができない状態であったため、切断することを示します。このメッセージは ISDN 回線およびモデムの場合だけ出力されます。

【パラメタの意味】

<line> 対象となる回線

ISDN 回線の場合

[<line>]

<line> ：回線番号

モデムの場合

[com / <no>]

<no> ：serial 定義番号

<ch> 接続物理チャネル

ISDN 回線の場合

B1 〜 B2ch

モデムの場合

-

1.10.8 自動発呼の抑止中

【メッセージ】

```
protocol: autodial locked by <name>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

自動発信が抑止中のため、自動発信処理を中止したことを示します。このメッセージは ISDN 回線、PPPoE、およびモデムの場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<name>　抑止の原因

- **schedule**　スケジュール情報による抑止
- **limiter**　課金制限による抑止（ISDN 回線とモデムの場合だけ）
- **redial**　3 分間に 2 回を超える再発信のため自動発信処理を中止（ISDN 回線とモデムの場合だけ）

1.10.9　着信抑止

【メッセージ】

```
protocol: callin rejected by <name>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

着信が抑止中により、着信処理を中止したことを示します。このメッセージは ISDN 回線およびモデムの場合だけ出力されます。

【パラメタの意味】

<name>　抑止の原因

- **schedule**　スケジュール情報による抑止

1.10.10　課金制御条件の制限超過

【メッセージ】

```
protocol: wan <number> ISDN connect limit over [<reason>]
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【意味】

課金制御条件の制限を超過して発信しようとしたことを示します。このメッセージは ISDN 回線の場合だけ出力されます。

【パラメタの意味】

<number>

wan 定義番号

<reason>

超過した内容。以下の情報のどちらかとなります。

charge=<charge>yen

課金制限を超過

time=<day>:<hour>:<min>:<sec>

時間制限を超過

課金制限および時間制限の両方が超過している場合には、課金制限超過の内容が出力されます。

1.10.11　連続接続失敗による発信抑止

【メッセージ】

```
protocol: continuous PPP negotiation error <target> : call stop
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

連続して 30 回の接続に失敗（回線は接続されるが IP 通信ができずに失敗の場合）し、発信を禁止したことを示します。このメッセージは ISDN 回線、PPPoE、およびモデムの場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<target>　ネットワーク名. 接続先名

1.10.12　PPP ネゴシエーション失敗

【メッセージ】

```
protocol: <protocol> is closed by <target>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<protocol>が相手から終了させせられ、そのデータ回線上において<protocol>で示されたプロトコルでの通信が行えなくなったことを示します。

【パラメタの意味】

<protocol>

終了させせられたプロトコル

IPCP　IPv4 用のプロトコル名

IPV6CP　IPv6 用のプロトコル名

BCP　ブリッジ用のプロトコル名

<target>　ネットワーク名. 接続先名

1.10.13　発信失敗

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] callout failed (dial busy) : de-
tail [<status>/<state>/<reason>(#<code>)]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

相手話中による発信失敗を示します。このメッセージは ISDN 回線およびモデムの場合だけ出力されます。

【パラメタの意味】

<line>　対象となる回線

ISDN 回線の場合

[<line>]

<line> ：回線番号

モデムの場合

[com / <no>]

<no> ：serial 定義番号

<status>　エラーステータス

<state>　呼状態

<reason>

理由表示

<code>　理由表示番号。詳細は「ISDN 理由表示番号一覧」（P.177）を参照してください。

※モデムの場合、detail 以下は表示されません。

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] <ch> callout failed (auth rejected)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

相手より認証で拒絶されたことによる発信失敗を示します。

【パラメタの意味】

<line> 対象となる回線

ISDN 回線の場合

[<line>]

<line> ：回線番号

PPPoE の場合

[lan<no>]

<no> ：利用した lan 定義番号

モデムの場合

[com / <no>]

<no> ：serial 定義番号

<ch> 接続物理チャネル

ISDN 回線の場合

B1 〜 B2ch

PPPoE の場合

-

モデムの場合

-

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] <ch> callout failed (auth deny)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

相手を拒絶したことによる発信失敗を示します。

【パラメタの意味】

<line>　対象となる回線

ISDN 回線の場合

[<line>]

<line> ：回線番号

PPPoE の場合

[lan<no>]

<no> ：利用した lan 定義番号

モデムの場合

[com / <no>]

<no> ：serial 定義番号

<ch>　接続物理チャネル

ISDN 回線の場合

B1 〜 B2ch

PPPoE の場合

-

モデムの場合

-

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] <ch> callout failed (negotiation)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

PPP ネゴシエーション失敗による発信失敗を示します。

【パラメタの意味】

<line>　対象となる回線

ISDN 回線の場合

[<line>]

<line> ：回線番号

PPPoE の場合

[lan<no>]

<no> ：利用した lan 定義番号

モデムの場合

[com / <no>]

<no> ：serial 定義番号

<ch> 接続物理チャネル

ISDN 回線の場合

B1 〜 B2ch

PPPoE の場合

\-

モデムの場合

\-

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] callout failed (other reason) : de-
tail [<status>/<state>/<reason>(#<code>)]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

detail で示される理由による発信失敗を示します。このメッセージは ISDN 回線およびモデムの場合だけ出力されます。

【パラメタの意味】

<line> 対象となる回線

ISDN 回線の場合

[<line>]

<line> ：回線番号

モデムの場合

[com / <no>]

<no> ：serial 定義番号

<status> エラーステータス

<state> 呼状態

<reason>

理由表示

<code> 理由表示番号。詳細は「ISDN 理由表示番号一覧」（P.177）を参照してください。

※モデムの場合、detail 以下は表示されません。

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] callout failed (alert timeout)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

相手が呼び出し応答を行い、着信応答をしないことによる発信失敗を示します。このメッセージは ISDN 回線の場合にだけ出力されます。

【パラメタの意味】

<line>　対象となる回線

[<line>]　<line> ：回線番号

1.10.14　着信失敗

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] <ch> callin failed (auth rejected)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

相手より認証で拒絶されたことによる着信失敗を示します。このメッセージは ISDN 回線およびモデムの場合にだけ出力されます。

【パラメタの意味】

<line>　対象となる回線

ISDN 回線の場合

[<line>]

<line> ：回線番号

モデムの場合

[com / <no>]

<no> ：serial 定義番号

<ch>　接続物理チャネル

ISDN 回線の場合

B1 ～ B2ch

モデムの場合

-

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] <ch> callin failed (auth deny)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

相手を認証で拒絶したことによる着信失敗を示します。このメッセージは ISDN 回線およびモデムの場合にだけ出力されます。

【パラメタの意味】

<line> 対象となる回線

ISDN 回線の場合

[<line>]

<line> ：回線番号

モデムの場合

[com / <no>]

<no> ：serial 定義番号

<ch> 接続物理チャネル

ISDN 回線の場合

B1 〜 B2ch

モデムの場合

-

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] <ch> callin failed (negotiation)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

PPP ネゴシエーション失敗による着信失敗を示します。このメッセージは ISDN 回線およびモデムの場合にだけ出力されます。

【パラメタの意味】

<line> 対象となる回線

ISDN 回線の場合

[<line>]

<line> ：回線番号

モデムの場合

[com / <no>]

<no> ：serial 定義番号

<ch>　接続物理チャネル

ISDN 回線の場合

B1 〜 B2ch

モデムの場合

-

1.10.15　回線エラー

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] <ch> disconnected by peer : de-
tail [<status>/<state>/<reason>(#<code>)]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

予期せずに相手から切断されたことを示します。このエラーは ISDN 回線およびモデムの場合だけ出力されます。

【パラメタの意味】

<line>　対象となる回線

ISDN 回線の場合

[<line>]

<line> ：回線番号

モデムの場合

[com / <no>]

<no> ：serial 定義番号

<ch>　接続物理チャネル

ISDN 回線の場合

B1 〜 B2ch

モデムの場合

-

<status>　エラーステータス

<state>　呼状態

<reason>

理由表示

<code>　理由表示番号。詳細は「ISDN 理由表示番号一覧」（P.177）を参照してください。

※モデムの場合、detail 以下は表示されません。

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] <ch> line error : de-
tail [<status>/<state>/<reason>(#<code>)]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

回線エラーが発生したことを示します。このエラーは ISDN 回線およびモデムの場合だけ出力されます。

【パラメタの意味】

<line> 対象となる回線

ISDN 回線の場合

[<line>]

<line> ：回線番号

モデムの場合

[com / <no>]

<no> ：serial 定義番号

<ch> ：接続物理チャネル

ISDN 回線の場合

B1 〜 B2ch

モデムの場合

-

<status> エラーステータス

<state> 呼状態

<reason>

理由表示

<code> 理由表示番号。詳細は「ISDN 理由表示番号一覧」（P.177）を参照してください。

※モデムの場合、detail 以下は表示されません。

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] <target> is disconnected, because <reason>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ISDN 回線、PPPoE のセッション、またはモデム接続が切断された理由を示します。このメッセージは ISDN 回線、PPPoE およびモデムの場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<line>　対象となる回線

ISDN 回線の場合

[<line>]

<line> ：回線番号

PPPoE の場合

[lan<no>]

<no> ：利用した lan 定義番号

モデムの場合

[com / <no>]

<no> ：serial 定義番号

<target>　ネットワーク名. 接続先名

<reason>

切断理由

no carrier

キャリアロスト検出のため（PPPoE の場合だけ）

PADT received

相手から PADT を受信したため（PPPoE の場合だけ）

keepalive expired

相手からの受信がまったくなくなったため

1.10.16　発信ログ

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] CALL to <target> by forwarding packet: <proto-
col> <sa>(<sp>)-><da>(<dp>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

パケット送信により発信処理を行ったことを示します（IPv4/ IPv6）。このメッセージは ISDN 回線、PPPoE、およびモデムの場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<line> 対象となる回線

ISDN 回線の場合

[<line>]

<line> ：回線番号

PPPoE の場合

[lan<no>]

<no> ：利用した lan 定義番号

モデムの場合

[com/<no>]

<no> ：serial 定義番号

<target> ネットワーク名

<protocol>

発信契機となったパケットの上位プロトコル

TCP/UDP/ICMP/ICMPV6 の場合は文字列で表示され、それ以外の場合は数値で表示されます。

<sa> パケットの送信元アドレス

<sp> パケットの送信元ポート番号（TCP/UDP の場合だけ）

<da> パケットのあて先アドレス

<dp> パケットのあて先ポート番号（TCP/UDP の場合だけ）

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] CALL to <target> by bridging packet: <format>:<type>-<sa>-><da>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

パケット送信により発信処理を行ったことを示します（bridge)。このメッセージは ISDN 回線およびモデムの場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<line> 対象となる回線

ISDN 回線の場合

[<line>]

<line> ：回線番号

モデムの場合

[com/<no>]

<no> ：serial 定義番号

<target>　ネットワーク名

<format>

パケットフォーマット

Ethernet　Ethernet 形式

LLC　LLC 形式

<type>　パケットタイプ

<sa>　パケットの送信元 MAC アドレス

<da>　パケットのあて先 MAC アドレス

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] CALL to <target> by <reason>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

上記以外の理由により発信処理を行ったことを示します。このメッセージは ISDN 回線、PPPoE、およびモデムの場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<line>　対象となる回線

ISDN 回線の場合

[<line>]

<line> ：回線番号

PPPoE の場合

[lan<no>]

<no> ：利用した lan 定義番号

モデムの場合

[com / <no>]

<no> ：serial 定義番号

<target>　ネットワーク名

<reason>

発信理由

STP packet

発信契機が STP パケットであった場合

ProxyDNS

発信契機が ProxyDNS であった場合

1.10.17　閉塞状態への移行

【メッセージ】

```
protocol: <name> is force down
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

障害検出またはオペレータ指示によって、閉塞状態に移行したことを示します。

【パラメタの意味】

<name>　ネットワーク名. 接続先名（WAN 側の場合）
インタフェース名（LAN 側の場合）

1.11　フレームリレーのメッセージ

1.11.1　CLLM メッセージ受信

【メッセージ】

```
frctl: [<line>] received CLLM(<kind>) about <remote_name>(DLCI:<dlci>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

CLLM メッセージを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<line>　回線番号

<kind>　CLLM メッセージの種類

2	トラフィックによる軽輻輳
3	トラフィックによる重輻輳
6	装置故障（短時間）
7	装置故障（長時間）
10	保守動作（短時間）
11	保守動作（長時間）
16	原因不明の軽輻輳
17	原因不明の重輻輳

輻輳通知を受けた場合はスループットを減少させます。
装置故障通知または保守動作通知を受けた PVC をインアクティブにします。

<remote_name>
相手ネットワーク名. 接続先名

<dlci>　通信内容に該当する DLCI

1.11.2　PVC 状態アクティブ

【メッセージ】

```
frctl: [<line>] <remote_name>(DLCI:<dlci>) became active
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

PVC 状態確認手順のフル状態表示または単一 PVC 非同期状態表示によって PVC がアクティブとなったことを示します。

【パラメタの意味】

<line> 回線番号

<remote_name>
相手ネットワーク名. 接続先名

<dlci> アクティブとなった PVC の DLCI

1.11.3 PVC 状態インアクティブ

【メッセージ】

```
frctl: [<line>] <remote_name>(DLCI:<dlci>) became inactive
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

PVC 状態確認手順のフル状態表示または単一 PVC 非同期状態表示によって PVC がインアクティブとなったことを示します。

【パラメタの意味】

<line> 回線番号

<remote_name>
相手ネットワーク名. 接続先名

<dlci> インアクティブとなった PVC の DLCI

1.11.4 CLLM メッセージ軽輻輳通知による PVC アクティブ

【メッセージ】

```
frctl: [<line>] <remote_name>(DLCI:<dlci>) became active by CLLM light
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

CLLM メッセージの軽輻輳通知によって PVC がアクティブとなったことを示します。

【パラメタの意味】

<line>　回線番号

<remote_name>
相手ネットワーク名. 接続先名

<dlci>　アクティブとなった PVC の DLCI

1.11.5　CLLM メッセージ重輻輳通知による PVC アクティブ

【メッセージ】

```
frctl: [<line>] <remote_name>(DLCI:<dlci>) became active by CLLM serious
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

CLLM メッセージの重輻輳通知によって PVC がアクティブとなったことを示します。

【パラメタの意味】

<line>　回線番号

<remote_name>
相手ネットワーク名. 接続先名

<dlci>　アクティブとなった PVC の DLCI

1.11.6　CLLM メッセージ装置故障通知または保守動作通知による PVC インアクティブ

【メッセージ】

```
frctl: [<line>] <remote_name>(DLCI:<dlci>) became inactive by CLLM stop
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

CLLM メッセージの装置故障通知または保守動作通知によって PVC がインアクティブとなったことを示します。

【パラメタの意味】

<line>　回線番号

<remote_name>
相手ネットワーク名. 接続先名

<dlci>　インアクティブとなった PVC の DLCI

1.11.7　T2 タイマタイムアウトによる PVC アクティブ

【メッセージ】

```
frctl: [<line>] <remote_name>(DLCI:<dlci>) became active by T2-
timer timeout
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

CLLM 回復タイマ（T2）のタイムアウトによって PVC がアクティブとなったことを示します。

【パラメタの意味】

lt;line>　回線番号

<remote_name>
相手ネットワーク名. 接続先名

<dlci>　アクティブとなった PVC の DLCI

1.11.8　PVC 状態確認手順による回線異常検出

【メッセージ】

```
frctl: [<line>] PVC link was disconnected
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

PVC 状態確認手順により回線異常を検出します。
最新の 4 回の「状態問合」メッセージの送信に対し、「状態表示」メッセージ未受信または無効メッセージ受信のエラーを 3 回以上検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<line>　回線番号

1.11.9　PVC 状態確認手順による回線異常状態からの回復

【メッセージ】

```
frctl: [<line>] PVC link recover
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

PVC 確認手順により検出した回線異常状態から回復した。
3 回連続して正しい「状態表示」メッセージを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<line>　回線番号

1.12　PPPoE のメッセージ

1.12.1　PPPoE ディスカバリステージ失敗

【メッセージ】

```
protocol: [lan<no>] PPPoE Discovery failed to <target> : rea-
son=<reason> state=<state>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

PPPoE のディスカバリステージ（PPPoE セッションを確立するためのネゴシエーション）が失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<target>　ネットワーク名. 接続先名

<reason>

失敗理由

sync failed

同期はずれ

datalink config error

データリンクの設定に誤りがある

wait timeout

期待するパケットを受信できずにタイムアウトした

negotiation error

ネゴシエーションエラー

<state>　PPPoE の内部状態

Initial　初期状態

waitPADO

PADO 受信待ち

waitPADS

PADS 受信待ち

1.13　セキュリティメッセージ

1.13.1　ProxyDNS による DNS 要求破棄

【メッセージ】

```
proxydns: rejected by <no> : QNAME [<type>:<qname>] from <ipaddr>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

ProxyDNS において、破棄指定により破棄されたことを示します。

【パラメタの意味】

<no>　reject を行った proxydns 命令の転送先定義番号

<type>　問い合わせタイプ

<qname>
問い合わせホスト名

<ipaddr>
発信元ホストの IP アドレス

1.13.2　ProxyDNS による unicode DNS 要求の破棄

【メッセージ】

```
proxydns: rejected by unknown character : QTYPE [<type>] from <ipaddr>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

ProxyDNS において、非表示文字の破棄指定により破棄されたことを示します。

【パラメタの意味】

<type>　問い合わせタイプ

<ipaddr>
発信元ホストの IP アドレス

1.13.3　IP フィルタによるパケット破棄

【メッセージ】

```
protocol: rejected at filter(<name>.<no>) : <P> <SA>:<SP> -> <DA>:<DP>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

IP フィルタによって、パケットが破棄されたことを示します。

【パラメタの意味】

<name>　ネットワーク名（WAN 側の場合）、
インタフェース名（LAN 側またはテンプレート着信の場合）

<no>　フィルタリング定義番号
破棄を行った IP フィルタ定義のフィルタリング定義番号が出力されます。どのフィルタリング定義にも該当せず、lan ip filter default、または remote ip fil ter default、または template ip filter default の定義に従って破棄を行った場合、" default "と出力されます。
特殊フィルタルールに適合した場合には、その内容が出力されます。

same address
source/destination ともに同じアドレス

tiny fragment
tiny fragment を検出

overlap fragment
overlap fragment を検出

<P>　プロトコル種別（TCP,UDP,ICMP,IP, その他は番号）
TCP の SYN パケットの場合は、TCP(S) と出力されます。

<SA>　送信元 IP アドレス

<SP>　送信元ポート番号（プロトコル種別が TCP または UDP の場合）

<DA>　あて先 IP アドレス

<DP>　あて先ポート番号（プロトコル種別が TCP または UDP の場合）

1.13.4　PPP 着信拒否

【メッセージ】

```
protocol: rejected call from <target>(<dial>) by PPP:<reason>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

PPP ネゴシエーション中に着信を拒否したことを示します。

【パラメタの意味】

<target>　ネットワーク名. 接続先名

<dial>　接続ダイアル番号

<reason>

認証失敗理由

authentication rejected

認証利用そのものを拒否

wrong account(<id>)

不正認証情報受信（<id>に ID 情報を出力）

1.13.5　DHCP サーバのアドレス配布

【メッセージ】

```
dhcpd: Server allocation <ip_address> to <mac_address>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

DHCP サーバが DHCP クライアントにアドレスを配布したことを示します。

【パラメタの意味】

<ip_address>

DHCP クライアントに配布した IP アドレス

<mac_address>

DHCP クライアントの MAC アドレス

1.13.6　IPv6 フィルタによるパケット破棄

【メッセージ】

```
protocol: rejected at filter(<name>.<no>) : <P> <SA>(<SP>) -> <DA>(<DP>)
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

IPv6 フィルタによって、パケットが破棄されたことを示します。

【パラメタの意味】

<name> ネットワーク名（WAN 側の場合）、
インタフェース名（LAN 側またはテンプレート着信の場合）

<no> フィルタリング定義番号

破棄を行った IPv6 フィルタ定義のフィルタリング定義番号が出力されます。どのフィルタリング定義にも該当せず、lan ip6 filter default、または remote ip6 filter default、または template ip6 filter default の定義に従って破棄を行った場合、“ default ”と出力されます。

特殊フィルタルールに適合した場合には、その内容が出力されます。

same address

source / destination ともに同じアドレス

tiny header

tiny header を検出

tiny fragment

tiny fragment を検出

overlap fragment

overlap fragment を検出

default restrict

デフォルトフィルタに適合

<P> プロトコル種別（TCP,UDP,ICMPV6, その他は番号）TCP の SYN パケットの場合は、TCP(S) と出力されます。

<SA> 送信元 IPv6 アドレス

<SP> 送信元ポート番号（プロトコル種別が TCP または UDP の場合）

<DA> あて先 IPv6 アドレス

<DP> あて先ポート番号（プロトコル種別が TCP または UDP の場合）

1.13.7 NAT によるパケット破棄

【メッセージ】

```
protocol: rejected at NAT(<name>.<reason>) : <P> <SA>:<SP> -> <DA>:<DP>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

NAT で、変換テーブルがなかったことにより破棄されたことを示します。

【パラメタの意味】

<name>　ネットワーク名

<reason>

破棄理由
特殊フィルタルールに適合した場合には、その内容が出力されます。

tiny fragment
tiny fragment を検出

overlap fragment
overlap fragment を検出

<P>　プロトコル種別（TCP,UDP,ICMP,IP, その他は番号）
TCP の SYN パケットの場合は、TCP(S) と出力されます。

<SA>　送信元 IP アドレス

<SP>　送信元ポート番号（プロトコル種別が TCP または UDP の場合）

<DA>　あて先 IP アドレス

<DP>　あて先ポート番号（プロトコル種別が TCP または UDP の場合）

1.13.8　NAT 変換テーブル作成

【メッセージ】

```
protocol: NAT:table: <P> <SA> -> <DA>:<DP>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

NAT で、パケット転送に伴い、変換テーブルを作成したことを示します。

【パラメタの意味】

<P>　プロトコル種別（TCP,UDP,ICMP,IP, その他は番号）
基本 NAT によるテーブル作成の場合は、ALL と出力されます。

<SA>　送信元 IP アドレス

<SP>　送信元ポート番号（プロトコル種別が TCP または UDP の場合）

<DA>　あて先 IP アドレス

<DP>　あて先ポート番号（プロトコル種別が TCP または UDP の場合）

1.13.9 IPv6 DHCP サーバのプレフィックス配布

【メッセージ】

```
dhcp6sd: Server delegation <prefix>/<prefixlen> to <interface>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

IPv6 DHCP サーバが IPv6 DHCP クライアントに IPv6 プレフィックスを配布したことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix>/<prefixlen>

IPv6 DHCP クライアントに配布した IPv6 プレフィックス

<interface>

インタフェース名

1.14　IPsec/IKE のメッセージ

1.14.1　ISAKMP SA ネゴシエーション

【メッセージ】

```
isakmp: not acceptable <etype> mode
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポートされていない、または受け入れられない交換モードを受信したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションデータ受信時に、自側の設定により決定した交換モードとは異なるモードを受信したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<etype>　交換モード

サポートされていない交換モード

1	Base

受け入れられない交換モード

※自側の設定により決定した交換モードとは異なるモード

2	Identity Protection
4	Aggressive

【メッセージ】

```
isakmp: invalid encryption algorithm <algorithm>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポートされていない、または不正な暗号アルゴリズムを受信したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションのデータ属性受信時に、DES-CBC、3DES-CBC、AES-CBC 以外の暗号アルゴリズムを受信したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<algorithm>

暗号アルゴリズム

サポートされていない暗号アルゴリズム

2	IDEA 暗号アルゴリズム
3	Blowfish 暗号アルゴリズム
4	RC5-R16-B64 暗号アルゴリズム
6	CAST 暗号アルゴリズム

不正な暗号アルゴリズム

1〜 7 以外の不定の値

※以下の暗号アルゴリズムはサポートされているため出力されることはありません。

1	DED CBC 暗号アルゴリズム
5	3DEC CBC 暗号アルゴリズム
7	AES-CBC 暗号アルゴリズム

【メッセージ】

```
isakmp: invalid hash algorithm <algorithm>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポートされていない、または不正なハッシュアルゴリズムを受信したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションのデータ属性受信時に、MD5、SHA 以外のハッシュアルゴリズムを受信したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<algorithm>

ハッシュアルゴリズム

サポートされていないハッシュアルゴリズム

3	Tiger ハッシュアルゴリズム
	不正なハッシュアルゴリズム

1 〜 3 以外の不定の値

※以下のハッシュアルゴリズムはサポートされているため出力されることはありません。

1	MD5 アルゴリズム
2	SHA アルゴリズム

【メッセージ】

```
isakmp: invalid authentication method <method>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポートされていない、不正な認証方式を受信したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションのデータ属性受信時に、共有鍵（Pre-shared key）認証以外の認証方式を受信したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<method>

認証方式

サポートされていない認証方式

2	DSS 署名認証方式
3	RSA 署名認証方式
4	RSA 暗号認証方式
5	改良 RSA 暗号認証方式

不正な認証方式

1 ～ 5 以外の不定の値

※以下の認証方式はサポートされているため出力されることはありません。

1	既知共有鍵認証方式

【メッセージ】

```
isakmp: invalid DH group type <group>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポートされていない、または不正なグループタイプを受信したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションのデータ属性受信時に、RFC2409 に定義されている中で MODP 以外のグループタイプを受信したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<group> グループ記述子

サポートされていないグループタイプ

2	ECP だ円関数グループ
3	EC2N だ円関数グループ

不正な認証方式

1 ～ 3 以外の不定の値

※以下のグループタイプはサポートされているため出力されることはありません。

1	MODP 指数関数グループ

【メッセージ】

```
isakmp: ignore the packet, expecting the packet encrypted
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信パケットが暗号化されていることを期待していたが、暗号化されていないため、パケットを破棄したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションで、鍵交換後のパケットは暗号化されることを期待するが、暗号化されていないパケットを受信したときに出力されます。

【メッセージ】

```
isakmp: Expecting IP address type in main mode, but <type>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

Main モードで受信した ID ペイロードの IP アドレスタイプが、期待していたタイプでなかったことを示します。このメッセージは ISAKMP SA のネゴシエーションを共有鍵（Pre-shared key）認証で行う場合に、ID ペイロードの交換が IPv4 アドレス、IPv6 アドレス以外で行われたときに出力されます。

【パラメタの意味】

<type> ID タイプ

サポートされていない ID タイプ

1	IPv4 アドレス
2	省略なしドメイン名

3	省略なしユーザ名
4	IPv4 アドレスとネットマスク
5	IPv6 アドレス
6	IPv6 アドレスとネットマスク
7	IPv4 アドレス範囲指定
8	IPv6 アドレス範囲指定
9	証明書対象者の X.501 バイナリ DER エンコーディング
10	証明書対象者の X.509 バイナリ DER エンコーディング
11	独自 ID 情報

不正な ID タイプ

1 〜 11 以外の不定の値

【メッセージ】

```
isakmp: give up phase1 negotiation. <local> -> <remote>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ISAKMP SA のネゴシエーションの再送回数が終了したことを示します。このメッセージは、回線異常、相手装置の問題によりネゴシエーションパケットが受信できず、ネゴシエーションが失敗したときに出力されます。または、設定ミスによりネゴシエーションパケットが破棄され、ネゴシエーションが失敗したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<local>　IPsec 対象パケットをセキュア化する送信元 IP アドレスまたは自装置識別情報

<remote>

IPsec 対象パケットをアンセキュア化するあて先 IP アドレスまたは相手装置識別情報

【メッセージ】

```
isakmp: phase1 information overflow.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ISAKMP SA のネゴシエーションにおいて、Phase1 情報が最大数を超えたことを示します。このメッセージは、大規模構成で同時に IPse / IKE 通信を行い、それぞれの IPsec SA 更新のタイミングが同時期に行われた場合や相手装置の問題によって定義数以上のネゴシエーションが行われた場合に出力されます。

1.14.2 IPsec SA ネゴシエーション

【メッセージ】

```
isakmp: invalid transform id=<id> in <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポートされていない、または不正なトランスフォーム ID を受信したことを示します。このメッセージは IPsec SA のネゴシエーション開始時に、受信したトランスフォームペイロードトランスフォーム ID が未サポート、または不正な認証または暗号アルゴリズムの場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<id> トランスフォーム ID（認証／暗号アルゴリズム）

protocol が ISAKMP の時

不正なトランスフォーム ID

1 以外の不定の値

※以下のトランスフォーム ID はサポートされているため出力されることはありません。

1	IKE

protocol が AH の時

サポートされていないトランスフォーム ID

3	DES 認証アルゴリズム

不正なトランスフォーム ID

1 〜 3 以外の不定の値

※以下のトランスフォーム ID はサポートされているため出力されることはありません。

2	MD5 認証アルゴリズム
3	SHA 認証アルゴリズム

protocol が ESP の時

サポートされていないトランスフォーム ID

1	DES IV64 暗号アルゴリズム
4	RC5 暗号アルゴリズム
5	IDEA 暗号アルゴリズム
6	CAST 暗号アルゴリズム

7	Blowfish 暗号アルゴリズム
8	トリプル IDEA 暗号アルゴリズム
9	DES IV32 暗号アルゴリズム
10	RC4 暗号アルゴリズム

不正なトランスフォーム ID
1 〜 12 以外の不定の値
※以下のトランスフォーム ID はサポートされているため出力されることはありません。

2	DES 暗号アルゴリズム
3	DES 暗号アルゴリズム
12	AES 暗号アルゴリズム

<protocol>

プロトコル

1	ISAKMP プロトコル
2	認証プロトコル
3	暗号プロトコル

【メッセージ】

```
isakmp: invalid encryption mode=<mode>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポートされていない、または不正なカプセルモードを受信したことを示します。このメッセージは IPsec SA のネゴシエーションのデータ属性受信時に、トンネルモード以外のカプセルモードを受信したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<mode> カプセルモード

サポートされていないカプセルモード

2	トランスポートモード

不正なカプセルモード
1、2 以外の不定の値
※以下のカプセルモードはサポートされているため出力されることはありません。

2	トンネルモード

【メッセージ】

```
isakmp: invalid authentication algorithm=<algorithm>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポートされていない、または不正な認証アルゴリズムを受信したことを示します。このメッセージはIPsec SA のネゴシエーションのデータ属性受信時に、HMAC-MD5,HMAC-SHA1 以外の認証アルゴリズムを受信したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<algorithm>

認証アルゴリズム

サポートされていない認証アルゴリズム

3	DES MAC 認証アルゴリズム
4	KPDK 認証アルゴリズム

不正な認証アルゴリズム

1 〜 4 以外の不定の値

※以下の認証アルゴリズムはサポートされているため出力されることはありません。

1	HMAC MD5 認証アルゴリズム
2	HMAC SHA 認証アルゴリズム

【メッセージ】

```
isakmp: give up phase2 negotiation. <src_addr> -> <dst_addr>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec SA のネゴシエーションの再送回数が終了したことを示します。このメッセージは、回線異常や相手装置の問題によりネゴシエーションパケットが受信できなかった場合や設定ミスによりパケットが破棄されたことによって、ネゴシエーションが失敗した場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<src_addr>

IPsec 対象パケットをセキュア化する送信元 IP アドレス

<dst_addr>

IPsec 対象パケットをアンセキュア化するあて先 IP アドレス

【メッセージ】

```
isakmp: phase2 information overflow.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec SA のネゴシエーションにおいて、Phase2 情報が最大数を超えたことを示します。このメッセージは、大規模構成で同時に IPse / IKE 通信を行い、それぞれの IPsec SA 更新のタイミングが同時期に行われた場合や相手装置の問題により定義数以上のネゴシエーションが行われた場合に出力されます。

【メッセージ】

```
isakmp: IPsec SA protocol id mismatched.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec SA のネゴシエーションプロトコルが、受信した IPsec SA のネゴシエーションと一致しなかったことを示します。IPsec SA のネゴシエーションに失敗したときにレスポンダによって出力されます。

【メッセージ】

```
isakmp: IPsec SA encryption algorithm mismatched.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec SA の暗号アルゴリズムが、受信した IPsec SA の暗号アルゴリズムと一致しなかったことを示します。IPsec SA のネゴシエーションに失敗したときにレスポンダによって出力されます。

【メッセージ】

```
isakmp: IPsec SA authentication algorithm mismatched.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec SA の認証アルゴリズムが、受信した IPsec SA の認証アルゴリズムと一致しなかったことを示します。IPsec SA のネゴシエーションに失敗したときにレスポンダによって出力されます。

【メッセージ】

```
isakmp: IPsec SA pfs group mismatched.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec SA の PFS 使用時の DH グループが、受信した IPsec SA の DH グループと一致しなかったことを示します。IPsec SA のネゴシエーションに失敗したときにレスポンダによって出力されます。

1.14.3 ISAKMP、IPsec 共通

【メッセージ】

```
isakmp: invalid value of DOI 0x<doi>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不正な DOI の値を受信したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA または IPsec SA のネゴシエーション開始時に、受信した SA ペイロード の DOI が IPsec DOI 以外の場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<doi> DOI
00000001 以外の不定の値

【メッセージ】

```
isakmp: invalid situation 0x<situation>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポートされていない、または不正な Situation の値を受信したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA または IPsec SA のネゴシエーション開始時に、受信した SA ペイロードの Situation が SIT_IDENTITY_ONLY 以外の場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<situation>

situation

サポートされていない Situation

00000002　ネゴシエーション中の SA が、ラベル付けされたセキュリティが必要な環境にあることを示します。

00000004　ネゴシエーション中の SA が、ラベルが付いたインテグリティを必要とする環境にあることを示します。

不正な situation

00000001、00000002、00000004 以外の不定の値

※以下の Situation はサポートされているため出力されることはありません。

0000000x　発信元 ID 情報によって SA を確認することを指定します。

【メッセージ】

```
isakmp: invalid protocol id <id>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポートされていない、または不正なプロトコル ID の値を受信したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA または IPsec SA のネゴシエーション開始時に、受信したプロポーザルペイロードのプロトコル ID が ISAKMP、AH、ESP 以外の場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<id>　プロトコル ID

サポートされていないプロトコル ID

4　圧縮プロトコル

不正なプロトコル ID

1 ～ 4 以外の不定の値

※以下のプロトコル ID はサポートされているため出力されることはありません。

1　ISAKMP プロトコル

2　IPsec 認証プロトコル

3　IPsec 暗号プロトコル

【メッセージ】

```
isakmp: invalid life type <type>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不正な Life タイプを受信したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA または IPsec SA のネゴシエーションのデータ属性受信時に、RFC2409 に定義されていない Life タイプを受信したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<type> Life タイプ
不正なプロトコル ID
1、2 以外の不定の値
※以下の Life タイプはサポートされているため出力されることはありません。

1	単位秒
2	単位キロバイト

【メッセージ】

```
isakmp: invalid attribute type <type>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポートされていない、または不正な属性タイプを受信したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA または IPsec SA のネゴシエーションのデータ属性受信時に、サポートされていないまたは RFC2409 に定義されていない属性タイプを受信したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<type> 属性タイプ
ISAKMP SA ネゴシエーションの時
サポートされていない属性タイプ

8	グループ生成 2 属性タイプ
9	グループ曲線 A 属性タイプ
10	グループ曲線 B 属性タイプ
15	フィールド長属性タイプ

不正な属性タイプ
1 ～ 15 以外の不定の値
※以下の属性タイプはサポートされているため出力されることはありません。

1	暗号アルゴリズム
2	ハッシュアルゴリズム
3	認証方式
4	グループ記述子
5	グループタイプ
6	グループ素数／規約多項式
7	グループ生成 1
11	Life タイプ
12	Life 継続期限
13	prf
14	鍵長

IPsec SA ネゴシエーションの時
サポートされていない属性タイプ

7	鍵ラウンド属性タイプ
8	圧縮辞書サイズ属性タイプ
9	圧縮プライベート

アルゴリズム
不正な属性タイプ
1 ～ 9 以外の不定の値
※以下の属性タイプはサポートされているため出力されることはありません。

1	Life タイプ
2	Life 継続期限
3	グループ記述子
4	カプセルモード
5	認証アルゴリズム
6	鍵長

【メッセージ】

```
isakmp: invalid group description=<group>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポートされていない、または不正なグループ記述子を受信したことを示します。このメッセージはISAKMP SA または IPsec SA のネゴシエーションのデータ属性受信時に、サポートされていないまたはRFC2409 に定義されていないグループ記述子を受信したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<group> グループ記述子

サポートされていないグループ記述子

3	EC2N[2^155] だ円関数グループ
4	EC2N[2^185] だ円関数グループ

不正なグループ記述子

1 〜 5 以外の不定の値

※以下のグループ記述子はサポートされているため出力されることはありません。

1	768 ビット MODP グループ
2	1024 ビット MODP グループ
5	1536 ビット MODP グループ

【メッセージ】

```
isakmp: ignore the packet, received unexpecting payload type <group>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

期待していないペイロードタイプを受信したため、そのパケットを破棄したことを示します。このメッセージは ISAKMP SA または IPsec SA のネゴシエーションで、受信したパケットに期待していないペイロードが含まれていたときに出力されます。

【パラメタの意味】

<group> ペイロードタイプ

0	none ペイロード
1	SA ペイロードタイプ
2	プロポーザルペイロードタイプ
3	トランスフォームペイロードタイプ
4	鍵交換ペイロードタイプ
5	ID ペイロードタイプ
6	証明書ペイロードタイプ
7	証明書要求ペイロードタイプ
8	ハッシュペイロードタイプ

9	署名ペイロードタイプ
10	Nonce ペイロードタイプ
11	通知ペイロードタイプ
12	削除ペイロードタイプ
13	ベンダ ID ペイロードタイプ

不正なペイロードタイプ

0 〜 13 以外の不定の値

【メッセージ】

```
isakmp: received invalid next payload type <receive_type>, expect-
ing <expect_type>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

期待していたペイロードタイプとは異なるペイロードが次ペイロードに指定されていたことを示します。このメッセージは ISAKMP SA または IPsec SA のネゴシエーションで、自身が受けるパケット構成とは異なる構成のパケットを受信したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<receive_type>

受信した次ペイロードタイプ

0	none ペイロード
1	SA ペイロードタイプ
2	プロポーザルペイロードタイプ
3	トランスフォームペイロードタイプ
4	鍵交換ペイロードタイプ
5	ID ペイロードタイプ
6	証明書ペイロードタイプ
7	証明書要求ペイロードタイプ
8	ハッシュペイロードタイプ
9	署名ペイロードタイプ
10	Nonce ペイロードタイプ
11	通知ペイロードタイプ
12	削除ペイロードタイプ
13	ベンダ ID ペイロードタイプ

不正なペイロードタイプ

0 〜 13 以外の不定の値

<expect_type>

期待していたペイロードタイプ

1	SA ペイロードタイプ
8	ハッシュペイロードタイプ

【メッセージ】

```
isakmp: HASH mismatched side=<side> exchange type=<type> status=<status>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信したハッシュ値と受信パケットから生成したハッシュ値が一致しないことを示します。このメッセージは ISAKMP SA または IPsec SA のネゴシエーション中に、イニシエータまたはレスポンダによって出力されます。イニシエータまたはレスポンダから受信したパケットがデータの破壊や改竄などにより、正常なパケットと判断できなかったことを示します。また、Aggressive 交換では、共有鍵が一致しない場合も出力されます。

【パラメタの意味】

<side> 自側の状態

0	イニシエータ側
1	レスポンダ側

<type> ISAKMP 交換の種類

2	Identity Protection 交換
4	Aggressive 交換
32	Quick 交換

<status> ISAKMP 交換での状態

Identity Protection 交換イニシエータのとき

7	3rd メッセージ受信時

Identity Protection 交換レスポンダのとき

5	3rd メッセージ受信時

Aggressive 交換イニシエータのとき

3	1rd メッセージ受信時

Aggressive 交換レスポンダのとき

3	2st メッセージ受信時

Quick 交換イニシエータのとき

5	1st メッセージ受信時

Quick 交換レスポンダのとき

1	1st メッセージ受信時
5	2st メッセージ受信時

【メッセージ】

```
isakmp: psk mismatched.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ISAKMP SA のネゴシエーションで共有鍵が一致していない可能性があることを示します。共有鍵が一致していない可能性があるときにレスポンダにより出力されます。

【メッセージ】

```
protocol: weak key not usable for des-cbc encryption.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec SA の des-cbc 暗号鍵に RFC2409 の Appendix A に記述されている weak key を設定したことを示します。des-cbc 暗号鍵に RFC2409 の Appendix A に記述されている鍵が設定され、IPsec SA の作成を行わなかったときに出力されます。

【メッセージ】

```
protocol: weak key not usable for 3des-cbc encryption.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec SA の 3des-cbc 暗号鍵に RFC2409 の Appendix A に記述されている weak key を設定したことを示します。3des-cbc 暗号鍵設定時に暗号鍵を 8 バイトごとの 3 つの鍵に分割した際、3 つの鍵のどれかに RFC2409 の Appendix A に記述されている鍵が設定され、IPsec SA の作成を行わなかったときに出力されます。

1.14.4　IKE セッションの復旧

【メッセージ】

```
icmpwatchd: IKE session watching host is up. [<target>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IKE セッションの監視ホスト、または接続回線が復旧したことを示します。

【パラメタの意味】

<target>　ネットワーク名. 接続先名

1.14.5　IKE セッションの障害検出

【メッセージ】

```
icmpwatchd: IKE session watching host is down. [<target>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IKE セッションの監視ホスト、または接続回線に障害が発生したことを示します。

【パラメタの意味】

<target>　ネットワーク名. 接続先名

1.15　接続先セッション監視のメッセージ

【メッセージ】

```
icmpwatchd: ap watching host is down. [<target>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

接続先セッション監視の監視ホスト、または接続回線に障害が発生したことを示します。

【パラメタの意味】

<target>　ネットワーク名. 接続先名

【メッセージ】

```
icmpwatchd: ap watching host is up. [<target>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

接続先セッション監視の監視ホスト、または接続回線の障害が復旧したことを示します。

【パラメタの意味】

<target>　ネットワーク名. 接続先名

1.16　構成定義関連のメッセージ

1.16.1　定義矛盾検出

【メッセージ】

```
protocol: lan <no> bridge is not attached: cannot use bridge on vlan
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

vlan インタフェースでブリッジを定義したため、この lan でブリッジを無効にしたことを示します。

【パラメタの意味】

<no>　　lan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: lan <no> bridge is not attached: this lan is bound by vlan.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

vlan でバインドされたインタフェースでブリッジを定義したため、この lan でブリッジを無効にしたことを示します。

【パラメタの意味】

<no>　　lan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: lan <no> bridge is not attached: two or more lan inter-
faces are included in the same group in IP bridge mode.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IP をブリッジする設定で複数の lan インタフェースを同じグループに含めたため、この lan でブリッジを無効にしたことを示します。

【パラメタの意味】

<no>　　lan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: <interface> STP is disable :STP cannot be used except group 0.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ブリッジグループ 0 以外のインタフェースで STP を定義したため、このインタフェースで STP を無効にしたことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

【メッセージ】

```
protocol: <interface> STP is disable:STP can-
not be used on vlan interface.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

vlan インタフェースで STP を定義したため、このインタフェースで STP を無効にしたことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

【メッセージ】

```
protocol: lan <no> backup is not available: no line
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

以下のどちらかの理由により、この lan 定義で lan ポートバックアップ機能が利用できないことを示します。

- 拡張モジュールが装着されていない、禁止された組み合わせの拡張モジュールを装着しているなどが原因で、lan backup 命令で指定された物理回線が使用できない。
- lan backup 命令で指定された物理回線が Ethernet ではない。

【パラメタの意味】

<no> lan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: lan <no> backup is not available: this line is already bound
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

lan backup 命令で指定された物理回線が、別の lan 定義によってすでに使用されているために、この lan 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<no> lan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: lan <no> recovery is not available: cannot define recov-
ery mode on vlan
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

vlan インタフェースで recovery を定義したため、この lan で自動復旧モード の設定を無効にしたことを示します。

【パラメタの意味】

<no> lan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: wan <no> is not attached: no sufficient resource
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

PPP 利用セッション数が上限を超えているため、その wan 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<no>　　wan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: lan <no> is not attached: no line
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

以下のどちらかの理由により、この lan 定義が利用できないことを示します。

- 拡張モジュールが装着されていない、禁止された組み合わせの拡張モジュールを装着しているなどが原因で、lan bind 命令で指定された物理回線が使用できない。
- lan bind 命令で指定された物理回線が Ethernet ではない。

【パラメタの意味】

<no>　　lan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: lan <no> is not attached: this line is already bound
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

lan bind 命令で指定された物理回線が、別の lan 定義によって、すでに使用されているために、この lan 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<no>　　lan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: lan <no> is not attached: no line to bind from vlan
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

以下のどれかの理由により、この lan 定義が利用できないことを示します。

- vlan インタフェースであり、vlan bind 命令で指定された物理回線が存在しない。
- vlan インタフェースであり、vlan bind 命令で指定された物理回線が Ethernet ではない。

【パラメタの意味】

<no>　　lan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: lan <no> is not attached: cannot bind vlan to vlan
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

以下の理由により、この lan 定義が利用できないことを示します。

- vlan インタフェースであり、vlan bind 命令で指定した先が vlan インタフェースである。

【パラメタの意味】

<no>　　lan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: lan <no> is not attached: dupli-
cate vid and bind with lan <other_no>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

以下の理由により、この lan 定義が利用できないことを示します。

- 同じ物理インタフェースを使用する複数の vlan インタフェースで、同じ VLAN ID が定義されている。

【パラメタの意味】

<no>　lan 定義番号

<other_no>
lan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: wan <no> is not attached: this line is already bound
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

wan bind 命令によって指定された物理回線が、別の wan 定義によってすでに使用されているために、この wan 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<no>　wan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: no line
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

remote ap datalink bind 命令で指定された wan 定義または lan 定義が存在しないために、この ap 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>
相手定義番号

<ap>　接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: this line is al-
ready bound
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

remote ap datalink bind 命令で指定された wan 回線が、別の ap 定義によってすでに使用されているために、この ap 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>
相手定義番号

<ap> 接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: illegal tunnel end-
point address
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

tunnel endpoint address の設定が正しくないため、この ap 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>
相手定義番号

<ap> 接続先定義番号

【メッセージ】

```
        protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: remote <re-
mote> ap <ap> has same IPsec Tunnel-address as re-
mote <other_remote> ap <other_ap>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec 通信用として定義した IPsec トンネルアドレスが、異なる remote 定義の ap 定義ですでに設定されているため、この ap 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>
相手定義番号

<ap> 接続先定義番号

<other_remote>
相手定義番号

<other_ap>
接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: lack of configura-
tion for IPsec
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec 通信に必要な情報の設定が欠けているために、この ap 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>
相手定義番号

<ap> 接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: remote <re-
mote> is only usable for IPsec
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

この remote 定義が IPsec 通信用として利用されているために、この ap 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>
相手定義番号

<ap> 接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: remote <remote> is du-
plicate IPsec definition
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

この相手定義（remote 定義）内に IPsec 通信用の定義が重複しているために、この接続先定義（ap 定義）が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>
相手定義番号

<ap> 接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: remote <re-
mote> ap <ap> is overflow IPsec definition
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec 通信用の定義が最大 IPsec 定義数を超えているめに、この接続先定義（ap 定義）が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>
相手定義番号

<ap> 接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: unavailable se-
rial <no>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

remote ap datalink bind 命令で指定されたシリアルポートの定義が無効になっているため、この ap 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>
相手定義番号

<ap> 接続先定義番号

<no> serial 定義番号

【メッセージ】

```
enabled: lan <no> has same network/address as lan <other_no>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<no>と<other_no> の LAN の IP ネットワーク、または IP アドレスが重複したことを示します。

【パラメタの意味】

<no> lan 定義番号

<other_no>
lan 定義番号

【メッセージ】

```
enabled: remote <no> has same remote address as remote <other_no>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<no>と<other_no> の相手情報のリモート IP アドレスが重複したことを示します。

【パラメタの意味】

<no> 相手定義番号

<other_no>
相手定義番号

【メッセージ】

```
enabled: loopback has same address as remote <no>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

loopback に設定されたアドレスと、<no>の相手情報のリモート IP アドレスが重複したことを示します。

【パラメタの意味】

<no> 相手定義番号

【メッセージ】

```
enabled: <interface> has same ip6 prefix as <other_interface>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface>と<other_interface>の IPv6 プレフィックスが重複したことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>
インタフェース名

<other_interface>
インタフェース名

【メッセージ】

```
init: remote/ap number is out of range.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

相手定義番号または接続先定義番号が指定範囲を超えているか、接続先定義が本装置全体の定義可能数を超えているため、範囲外の相手定義／接続先定義は無効であることを示します。

本メッセージは本装置の起動／再起動時に出力されます。また、構成定義関連のエラー詳細はコンソールに出力されます。

【メッセージ】

```
protocol: lan <no> NAT is unused: lack of memory. Initialization failed.
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【意味】

NAT 初期化時にメモリ枯渇になって NAT の初期化が成功せず、NAT でパケットのアドレス変換がなされない状態になったことを示します。メモリ不足の原因を解消してから再起動してください。

【パラメタの意味】

<no>　　lan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> NAT is unused: lack of memory. Initial-
ization failed.
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【意味】

NAT 初期化時にメモリ枯渇になって NAT の初期化が成功せず、NAT でパケットのアドレス変換がなされない状態になったことを示します。メモリ不足の原因を解消してから再起動してください。

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap>　　接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: rmt<no> ip filter is unused: lack of memory. Initializa-
tion failed.
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【意味】

IP フィルタ初期化時にメモリ枯渇になって初期化が成功せず、IP フィルタが無効な状態になったことを示します。メモリ不足の原因を解消してから再起動してください。

【パラメタの意味】

<no> rmt インタフェース番号

【メッセージ】

```
protocol: rmt<no> ip tos is unused: lack of memory. Initializa-
tion failed.
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【意味】

TOS 値書き換え初期化時にメモリ枯渇になって初期化が成功せず、TOS 値書き換えが無効な状態になったことを示します。メモリ不足の原因を解消してから再起動してください。

【パラメタの意味】

<no> rmt インタフェース番号

【メッセージ】

```
protocol: rmt<no> ip6 filter is unused: lack of memory. Initializa-
tion failed.
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【意味】

IPv6 フィルタ初期化時にメモリ枯渇になって初期化が成功せず、IPv6 フィルタが無効な状態になったことを示します。メモリ不足の原因を解消してから再起動してください。

【パラメタの意味】

<no>　　rmt インタフェース番号

【メッセージ】

```
protocol: rmt<no> ip6 trafficclass is unused: lack of memory. Initializa-
tion failed.
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【意味】

IPv6 Traffic Class 値書き換え初期化時にメモリ枯渇になって初期化が成功せず、IPv6 Traffic Class 値書き換えが無効な状態になったことを示します。

メモリ不足の原因を解消してから再起動してください。

【パラメタの意味】

<no>　　rmt インタフェース番号

【メッセージ】

```
ssdpd: no UPnP external interface.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

VoIP NAT トラバーサル機能で使用する外部インタフェースがありません。UPnP は動作しますが、定義にエラーがあることが通知されます。NAT を使用する lan 定義または remote 定義がない場合に出力されます。

【メッセージ】

```
ssdpd: no UPnP internal interface. UPnP is not available.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

VoIP NAT トラバーサル機能で使用する内部インタフェースがありません。UPnP は動作しません。NAT を使用しない lan 定義がない場合に出力されます。

【メッセージ】

```
dhcp6cd: remote <no> is not initialized, because there is no op-
tion to request.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv6 DHCP サーバに要求するオプションがないため、IPv6 DHCP クライアントを利用しないことを示します。

【パラメタの意味】

<no>　　相手定義番号

【メッセージ】

```
dhcp6cd: remote <no> is not initialized, because maximum of number is al-
ready started.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv6 DHCP クライアントが利用できる総数にすでに達しているため、利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<no>　　相手定義番号

【メッセージ】

```
dhcp6sd: remote <no> is not initialized, because there is no informa-
tion to distribute.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv6 DHCP クライアントに配布する情報がないため、利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<no>　　相手定義番号

【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not avail-
able :wan <no> is not configured.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

バインド先の wan が定義されていないため、このテンプレート定義を無効にしたことを示します。

【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

<no>　　wan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not avail-
able :wan <no> line is not supported.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

バインド先の wan の回線種別テンプレート着信に対応していないため、このテンプレート定義を無効にしたことを示します。

【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

<no>　　wan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not avail-
able :wan <no> is not acceptable.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

バインド先の wan が着信禁止になっているため、このテンプレート定義を無効にしたことを示します。

【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

<no> wan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available :this line is al-
ready bound other template.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

template datalink bind 命令で指定された回線が別のテンプレート定義によって既に使用されているため、このテンプレート定義を無効にしたことを示します。

【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available :no pooled interface .
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

テンプレート着信に使用するインタフェース定義がないため、このテンプレート定義を無効にしたことを示します。

【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available :pooled interface is al-
ready configured on remote.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

テンプレート用に予約したインタフェースに該当する remote 定義が既に設定されているため、このテンプレート定義を無効にしたことを示します。

【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

1.17 ftpd のメッセージ

1.17.1 ログオン成功

【メッセージ】

```
ftpd: login <user> from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ftp で正常にログオンできた場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user> ログオンユーザ名

<address>
クライアントの IP アドレス

1.17.2 ログオン失敗（認証エラー）

【メッセージ】

```
ftpd: <user> login incorrect from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ftp でユーザ名またはパスワードが違うためにログオンできなかった場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user> ログオンユーザ名

<address>
クライアントの IP アドレス

1.17.3 ファイル蓄積完了

【メッセージ】

```
ftpd: <filename> Write complete
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ファイル蓄積（クライアントからの put）により ROM が上書きされたことを示します。

【パラメタの意味】

<filename>
上書きされたファイル名

1.17.4　ファイル回収完了

【メッセージ】

```
ftpd: <filename> Read complete
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ファイル回収（クライアントからの get）により ROM が読み出されたことを示します。

【パラメタの意味】

<filename>
読み出されたファイル名

1.17.5　ログオン終了

【メッセージ】

```
ftpd: exit <user> for <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ftp でのログオンを終了した場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>　ログオンユーザ名

<address>
クライアントの IP アドレス

1.18 DHCP クライアントのメッセージ

1.18.1 IP アドレス獲得成功

【メッセージ】

```
dhcpd: Client received DHCPACK [<IP address>] [lan<no>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

DHCP サーバから DHCPACK を受信し、正常に IP アドレスを受け取ったことを示します。

【パラメタの意味】

<IPaddress>
DHCP サーバから割り当てられた IP アドレス

<no> 受信 LAN 定義番号

1.18.2 リース更新成功

【メッセージ】

```
dhcpd: DHCPACK contains different ’your’ IP address. reconfig-
ure to new address
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

リース更新で DHCP サーバから DHCPACK を受信したが、現在使用中の IP アドレスと異なるアドレスが割り当てられたため新しいアドレスに再構成し直します。

1.18.3 リース更新失敗 1

【メッセージ】

```
dhcpd: Received DHCPNAK(RENEWING). lan<no> go to INIT state
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

リース更新中（RENEWING 状態）に DHCP サーバから DHCPNAK を受信したため、INIT 状態に遷移し LAN インタフェースを再初期化します。

【パラメタの意味】

<no>　　受信 LAN 定義番号

1.18.4　リース更新失敗 2

【メッセージ】

```
dhcpd: Received DHCPNAK(REBINDING). lan<no> go to INIT state
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

リース更新中（REBINDING 状態）に DHCP サーバから DHCPNAK を受信したため、INIT 状態に遷移し LAN インタフェースを再初期化します。

【パラメタの意味】

<no>　　受信 LAN 定義番号

1.18.5　リース期間満了

【メッセージ】

```
dhcpc: The lease time expired. [lan<no>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

リース期間が満了したことを示します。

【パラメタの意味】

<no>　　受信 LAN 定義番号

1.19　IPv6 DHCP クライアントのメッセージ

1.19.1　IPv6 プレフィックス獲得成功

【メッセージ】

```
dhcp6cd: Received Reply <prefix>/<prefixlen> <interface>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv6 DHCP サーバから Reply を受信し、正常に IPv6 プレフィックスを受け取ったことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix>/<prefixlen>

IPv6 DHCP サーバから割り当てられた IPv6 プレフィックスとプレフィックス長

<interface>

インタフェース名

1.19.2　リース更新失敗 1

【メッセージ】

```
dhcp6cd: Renewing failure. <interface> go to REBIND state
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv6 DHCP サーバから獲得した情報のリース更新 (RENEW) に失敗したため、REBIND 状態に遷移します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

1.19.3　リース更新失敗 2

【メッセージ】

```
dhcp6cd: Rebinding failure. <interface> go to INIT state
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv6 DHCP サーバから獲得した情報のリース更新 (REBIND) に失敗したため、INIT 状態に遷移します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

1.19.4　IPv6 プレフィックス割り当ての設定誤り

【メッセージ】

```
dhcp6cd: Configuration error for IPv6 prefix assignment. <interface>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv6 プレフィックスを割り当てのための設定に誤りがあることを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

1.20 ProxyDNS のメッセージ

1.20.1 DNS プロキシの問い合わせパケット

【メッセージ】

```
proxydns: QNAME [<type>:<qname>] from <ipaddr> to <remote>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

発信契機となった DNS の問い合わせパケットの内容を示します。

【パラメタの意味】

<type> 問い合わせタイプ

```
<type>  番号   説明
“ A ”        1      host address
“ NS ”       2      authoritative server
“ CNAME ”    5      canonical name
“ SOA ”      6      start of authority zone
“ MB ”       7      mailbox domain name
“ MG ”       8      mail group member
“ MR ”       9      mail rename name
“ NULL ”     10     null resource record
“ WKS ”      11     well known service
“ PTR ”      12     domain name pointer
“ HINFO ”    13     host information
“ MINFO ”    14     mailbox information
“ MX ”       15     mail routing information
“ TXT ”      16     text strings
“ AAAA ”     28     IP6 Address
“ SRV ”      33     Server Selection
“ ANY ”      255    wildcard match
“ Type[ 番号] ”      上記以外
```

<qname>

問い合わせホスト名

<ipaddr>

発信元ホストの IP アドレス

<remote>

問い合わせ先ネットワーク名

1.20.2 エラー検知によるパケット破棄

【メッセージ】

```
proxydns: ERROR: record type <type>, class <class>, from <ad-
dress> QNAME [<name>]
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【意味】

不正と思われる type や class を持つ DNS 要求を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<type>　DNS 要求パケットの Type の値

<class>　DNS 要求パケットの Class の値

<address>

DNS 要求発行元の IP アドレス

<name>　DNS 要求を行った名前

1.21　SNMP のメッセージ

1.21.1　不当な SNMP エージェントアドレスの設定

【メッセージ】

```
snmpd: illegal SNMP agent address
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

自装置の IP アドレスとして割り当てられていない IP アドレスが SNMP エージェントアドレスとして定義されています。そのため、SNMP エージェントおよび TRAP 機能では、自装置の IP アドレスを使用します。SNMP マネージャとは正常に通信できない場合があります。

1.21.2　SNMP 認証失敗

【メッセージ】

```
snmpd: authentication failed. from <address> [<community>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

アクセス許可のない SNMP ホスト、または誤ったコミュニティ名でのアクセスがあったことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

SNMP 認証失敗の原因となった IP アドレス

<community>

SNMP 認証に使用されたコミュニティ名

1.22　VRRP のメッセージ

1.22.1　VRRP グループ開始

【メッセージ】

```
nsm: vrrp group is started. <interface> vrid<vrid>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface> と<vrid> が示す VRRP グループが動作を開始したことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>
　インタフェース名

<vrid>　自装置に設定された VRID

1.22.2　マスタルータ／バックアップルータ／イニシャル切り替わり

【メッセージ】

```
nsm: vrrp state is changed into the <state> state. <interface> vrid<vrid>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface> と<vrid> が示す VRRP 状態が<state> で示された状態に変更されたことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>
　インタフェース名

<vrid>　自装置に設定された VRID

<state>　変更後の状態

- **master**　マスタルータ
- **backup**　バックアップルータ
- **Initialize**　イニシャル

1.22.3　インタフェースアップ／ダウントリガイベント発生

【メッセージ】

```
nsm: vrrp <state> trigger event occurred. <inter-
face> vrid<vrid> No.<trigger_no> interface <target_if>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface>、<vrid> および<trigger_no> が示す番号で定義されたインタフェーストリガが発生し、状態が<state> になったことを示します。

【パラメタの意味】

<state>　変更後の状態

- **up**　トリガに設定されたインタフェースがアップし、トリガが不適用になりました。
- **down**　トリガに設定されたインタフェースがダウンし、トリガが適用されました。

<interface>

インタフェース名

<vrid>　自装置に設定された VRID

<trigger_no>

トリガ定義番号

<target_if>

トリガの対象となるインタフェース名

1.22.4　ルートアップ／ダウントリガイベント発生

【メッセージ】

```
nsm: vrrp <state> trigger event occurred. <inter-
face> vrid<vrid> No.<trigger_no> route <target_route> <target_if>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface> と<vrid> と<trigger_no> が示す番号で定義されたルートトリガが発生し、状態が<state> になったことを示します。

【パラメタの意味】

<state>　変更後の状態

up　トリガに設定された経路が復旧し、トリガが不適用になりました。

down　トリガに設定された経路が損失し、トリガが適用されました。

<interface>

インタフェース名

<vrid>　自装置に設定された VRID

<trigger_no>

トリガ定義番号

<target_route>

トリガの対象となる経路

<target_if>

トリガの対象となる経路のパケット送出インタフェース名

1.22.5　ノードアップ／ダウントリガイベント発生

【メッセージ】

```
nsm: vrrp <state> trigger event occurred. <inter-
face> vrid<vrid> No.<trigger_no> node <target_node> <target_if>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface> と<vrid> と<trigger_no> が示す番号で定義されたノードトリガが発生し、トリガの状態が<state> になったことを示します。

【パラメタの意味】

<state>　変更後の状態

up　トリガに設定されたノードがアップし、トリガが不適用になりました。

down　トリガに設定されたノードがダウンし、トリガが適用されました。

<interface>

インタフェース名

<vrid>　自装置に設定された VRID

<trigger_no>

トリガ定義番号

<target_node>

トリガの対象となるノードの IPv4 アドレス

<target_if>

トリガに設定された ICMP ECHO パケット送出インタフェース名

1.22.6　マスタルータダウン検出

【メッセージ】

```
nsm: vrrp master router down detection. <interface> vrid<vrid> [<ad-
dress>] #<code>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface> と<vrid> が示す VRRP グループのマスタルータのダウンを検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<vrid>　ダウンしたマスタルータの VRID

<address>

異常を検出したマスタルータの実 IP アドレス（XXX.XXX.XXX.XXX）

<code>　検出した異常の種類

01　マスタルータ放棄（優先度 0 の VRRP-AD 受信）

02　VRRP-AD 受信タイムアウト

1.22.7　受信 VRRP-AD TTL 異常

【メッセージ】

```
nsm: vrrp packet include invalid TTL. from <interface> [<address>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface> が示すインタフェースに TTL が 255 でない VRRP パケットを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<address>

受信した VRRP パケットの送信元 IP アドレス（XXX.XXX.XXX.XXX）

1.22.8　受信 VRRP-AD 認証タイプ異常

【メッセージ】

```
nsm: vrrp packet authentication method mismatched. from <inter-
face> [<address>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface> が示すインタフェースに認証方法の一致しない VRRP パケットを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<address>

受信した VRRP パケットの送信元 IP アドレス（XXX.XXX.XXX.XXX）

1.22.9　受信 VRRP-AD 認証パスワード異常

【メッセージ】

```
nsm: vrrp packet authentication data check failed. from <inter-
face> [<address>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface> が示すインタフェースに認証パスワードの一致しない VRRP パケットを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<address>

受信した VRRP パケットの送信元 IP アドレス（XXX.XXX.XXX.XXX）

1.22.10　VRID 重複設定

【メッセージ】

```
nsm: vrrp <interface> vrid<vrid> is not initialized. this vrid is al-
ready used
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

指定された VRID がすでに装置内で有効となっているため、この VRRP グループが利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>
インタフェース名

<vrid> 無効となった VRID

1.22.11　仮想ルータの IP アドレスインタフェースサブネット外設定

【メッセージ】

```
nsm: vrrp virtual router IP address out of interface subnet. <inter-
face> vrid<vrid> <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

この VRRP グループの仮想ルータの IP アドレスが、インタフェースのサブネット外であることを示します。

【パラメタの意味】

<interface>
インタフェース名

<vrid> 無効となった VRID

<address>
サブネット外である仮想ルータの IP アドレス

1.22.12　仮想ルータの IP アドレスインタフェース同一アドレス設定

【メッセージ】

```
nsm: vrrp same invalid virtual router IP address as real IP ad-
dress was set as backup. <interface> vrid<vrid> <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

バックアップ設定である VRRP グループの仮想ルータの IP アドレスが、インタフェースの実 IP アドレスと同じであるため、この VRRP グループが利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>
インタフェース名

<vrid>　無効となった VRID

<address>
実インタフェースと同じである仮想ルータの IP アドレス

1.23　スケジュールのメッセージ

1.23.1　電話番号変更予約の実施

【メッセージ】

```
scheduled: action: dial number convert [<dial1>] to [<dial2>]
        scheduled: [<no>] <config>: dial number [<dial3>] convert
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

スケジュール機能による電話番号変更が実施されたことを示します。

【パラメタの意味】

<dial1> 電話番号変更予約情報の変更前電話番号

<dial2> 電話番号変更予約情報の変更後電話番号

<no> 処理通番

<config> 対象となる構成定義情報の名称
<name>は相手ネットワーク名、アクセスポイント名、相手識別名、グループ名またはユーザID
<n>は数字を示します（詳細は各コマンド の説明を参照）。
wan.<n>.isdn.number.<n>
wan.<n>.isdn.numbersend
remote.<name>.ap.<name>.dial.<n>.number
remote.<name>.ap.<name>.called.number
aaa.<name>.user.<name>.called.number

<dial3> 変更する電話番号

1.23.2　電話番号変更の失敗

【メッセージ】

```
scheduled: config size over, convert failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

スケジュール機能による電話番号変更を実施したが、構成定義格納サイズを超えたため、変更に失敗したことを示します。

1.24　ブリッジ／ STP のメッセージ

1.24.1　構成変更を検出

【メッセージ】

```
protocol: Topology changed [<root>:<priority>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ブリッジネットワークの構成の変化を検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<root>　ルートブリッジの MAC アドレス

<priority>
ルートブリッジの優先度

1.24.2　上位ブリッジのダウンを検出

【メッセージ】

```
protocol: STP aging timer expired [<root>:<interface>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

自装置の上位のブリッジ装置から定期的に送信される構成情報 BPDU が規定時間内に受信できないことにより上位ブリッジ装置のダウンを検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<root>　ルートブリッジの MAC アドレス

<interface>
ダウンを検出したブリッジ装置が接続されるインタフェース名

1.25　コンソールのメッセージ

【メッセージ】

```
logon: logon console
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

コンソールで正常にログインできた場合に出力されます。

【メッセージ】

```
logon: failed logon console
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

コンソールでパスワードが違うためにログインできなかった場合に出力されます。

【メッセージ】

```
logon: exit console
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

コンソールで exit した場合に出力されます。consoleinfo autologout コマンドの設定により強制 exit された場合にも出力されます。

1.26　telnet デーモンのメッセージ

【メッセージ】

```
telnetd: logon telnet from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

telnet で正常にログインできた場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<address>

telnet 接続元アドレス

【メッセージ】

```
telnetd: failed logon telnet from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

telnet でパスワードが違うためにログインできなかった場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<address>

telnet 接続元アドレス

【メッセージ】

```
telnetd: exit telnet for <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

telnet で exit した場合に出力されます。telnetinfo autologout コマンドの設定により強制 exit された場合にも出力されます。

【パラメタの意味】

<address>

telnet 接続元アドレス

1.27　モデム関連のメッセージ

【メッセージ】

```
comctl: fail to initialize MODEM by <reason>
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【意味】

起動または enable によってモデムの初期化に失敗したことを示します。このメッセージはモデム接続可能な装置の場合だけ出力されます。

【パラメタの意味】

<reason>

初期化契機

enable　　enable

1.28　その他のメッセージ

1.28.1　課金情報のクリア

【メッセージ】

```
<name>:wan <no> ISDN(data) totalcharge=<value>yen totaltime=<time>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

課金情報をクリアしたことを示し、統計情報、課金情報を通知します。

【パラメタの意味】

<name>　課金情報をクリアしたプログラム

- **scheduled**
  スケジュール機能によりクリア
- **telexec**　telnet からのコマンドによるクリア
- **sshexec**　ssh からのコマンドによるクリア
- **cmdexec**　コンソールからのコマンドによるクリア
- **httpd**　ブラウザによるクリア

<no>　wan 番号

<value>　総通話料金（円単位）

<time>　総接続時間（dddd.hh:mm:ss の形式）

1.28.2　システムリセット エラー

【メッセージ】

```
<name>: ERROR: system reset busy.
```

【プライオリティ】

LOG_ERROR

【意味】

リセット処理を実施しようとしたが、ファーム更新中、構成定義の保存中、他スレッドでリセット処理中などにより、リセット処理ができなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<name>　リセットを実施したプログラム

scheduled
スケジュールによる電話番号変更後のリセット

telexec　telnet からのコマンドによるリセット

sshexec　ssh からのコマンドによるリセット

1.28.3　動的定義反映実行

【メッセージ】

```
enabled: system configuration restarted
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

動的定義反映が実行されたことを示します。

1.28.4　重複メッセージの省略

【メッセージ】

```
same message repeated <num> times
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

同じメッセージが繰り返されたので表示を省略したことを示します。

【パラメタの意味】

<num>　繰り返された回数

第 2 章　ISDN 理由表示番号一覧

正常イベント クラス

理由コード	理由表示番号	理由種別
01	＃1	欠番
02	＃2	指定中継網へのルートなし
03	＃3	相手へのルートなし
04	＃6	チャネル利用不可
05	＃7	呼が設定済のチャネルへ着呼
10	＃16	正常切断
11	＃17	着ユーザビジー
12	＃18	着ユーザレスポンスなし
13	＃19	相手ユーザ呼出中／応答なし
14	＃20	加入者不在
15	＃21	通信拒否
16	＃22	相手加入者番号変更
1A	＃26	選択されなかったユーザの切断復旧
1B	＃27	着側インタフェース起動不可
1C	＃28	無効番号フォーマット（不完全番号）
1D	＃29	ファシリティ拒否
1E	＃30	状態問い合わせへの応答
1F	＃31	その他の正常クラス

リソース不可クラス

理由コード	理由表示番号	理由種別
22	＃34	利用可回線／チャネルなし
26	＃38	網故障
29	＃41	一時的故障
2A	＃42	交換機輻輳
2B	＃43	アクセス情報廃棄
2C	＃44	要求回線／チャネル利用不可
2F	＃47	その他のリソース使用不可クラス

サービス利用不可クラス

理由コード	理由表示番号	理由種別
31	＃49	サービス品質（ QOS）利用不可
32	＃50	要求ファシリティ未契約
39	＃57	伝達能力不許可
3A	＃58	現在利用不可伝達能力
3F	＃63	その他のサービスまたはオプションの利用不可クラス

サービス未提供クラス

理由コード	理由表示番号	理由種別
41	＃65	未提供伝達能力指定
42	＃66	未提供チャネル種別指定
45	＃69	未提供ファシリティ要求
46	＃70	制限ディジタル情報転送能力だけ可能
4F	＃79	その他のサービスまたはオプションの未提供クラス

無効メッセージクラス

理由コード	理由表示番号	理由種別
51	＃81	無効呼番号使用
52	＃82	無効チャネル番号使用
53	＃83	指定された中断呼識別番号未使用
54	＃84	中断呼識別番号使用中
55	＃85	中断呼なし
56	＃86	指定中断呼切断復旧済
57	＃87	ユーザは CUGメンバでない
58	＃88	端末属性不一致
5B	＃91	無効中継網選択
5F	＃95	その他の無効メッセージクラス

手順誤りクラス

理由コード	理由表示番号	理由種別
60	＃96	必須情報要素不足
61	＃97	メッセージ種別未定義、または未提供
62	＃98	呼状態とメッセージ不一致、またはメッセージ別未定義または未提供
63	＃99	情報要素未定義
64	＃100	情報要素内容無効
65	＃101	呼状態とメッセージ不一致
66	＃102	タイマ満了による回復
6F	＃111	その他の手順誤りクラス

インタワーキングクラス

理由コード	理由表示番号	理由種別
7F	＃127	その他のインタワーキングクラス

MR1000　メッセージ集

発行日　　2005年1月

第1版　　K1N-D-04167A

発行責任　　オムロン株式会社

Printed in Japan